Vol.2
邪神監禁
ハーレムで
異世界
征服！
[原作] YUYU
[作画] Fourteen
Jashinkankin
Harem de
Isekai seifuku!

2
Jashinkankin
Harem de
Isekai seifuku!
volume TWO
Cover Design：AFTERGLOW

邪神監禁
ハーレムで
異世界
征服!
2
[原作]
YUYU
[作画]
Fourteen

CONTENTS

第6話

秋！
ドオッ

秋！
ドオッ

今なんて言った？「秋」？
ズゥン ズゥン
ここは夢の中よ！私達以外誰もいないはず…
あの様子…ご主人様が見たのはまさか…
夢魔(ナイトメア)！

夢魔(ナイトメア)!?
人間の夢の中で魂を吸い取るあの…？
強い執念を持つ人は夢魔を生みやすい…
このままじゃ私達もご主人様と一緒に悪夢に侵されて…
永遠に夢の中に囚われてしまうわ

「秋」への執念で夢魔が生まれたってこと？私達のことはどうでもいいわけ!?ムカつくわね！
行くわよ！力尽くでもユウヤを止めるの！
ご主人様の夢を上書きすれば目を覚まさせることができるかも！
はぁ…はぁ…はぁ…待って…走っても追いつけっこないわ夢魔はご主人様を連れ去るつもりよ

触手の小娘！
合体を解いて
出てきなさい！
あんたの術 発動まで
時間かかるんでしょ!?
それまで 私がユウヤを
引き止めるわ！
なんで？
あたし達が一緒にいるのが
羨ましいの？
嫌でーす！
べーっだ！
ふーん…じゃあ
この「映像」をユウヤに
見せちゃおうかしら
なっ！
脅しのつもり!?

これだけじゃないわ
旅の途中 色々あったわよねぇ
ユウヤはどう思うのかしら
ふふふふ…
ユウヤを見た女に
呪いをかけたり…
女騎士の鎧の中に
虫を入れたことも
あったわね
触手で
花売りの少女を
転ばせたり…
深夜 夢魔に
なりすまして
子供を驚かせたり…
しっぽを振りながら
寄ってくる猫や犬にまで
ひどいことを！
「人型を放棄して
邪神に対抗する」
と言ったのだって
ユウヤに見せるための
演技でしょう？
ああああぁぁぁ！
この性悪女！ どうして
そんなことまで!?
ぐぅううぅ〜！

わかったわよ！だから
その映像はやめて！

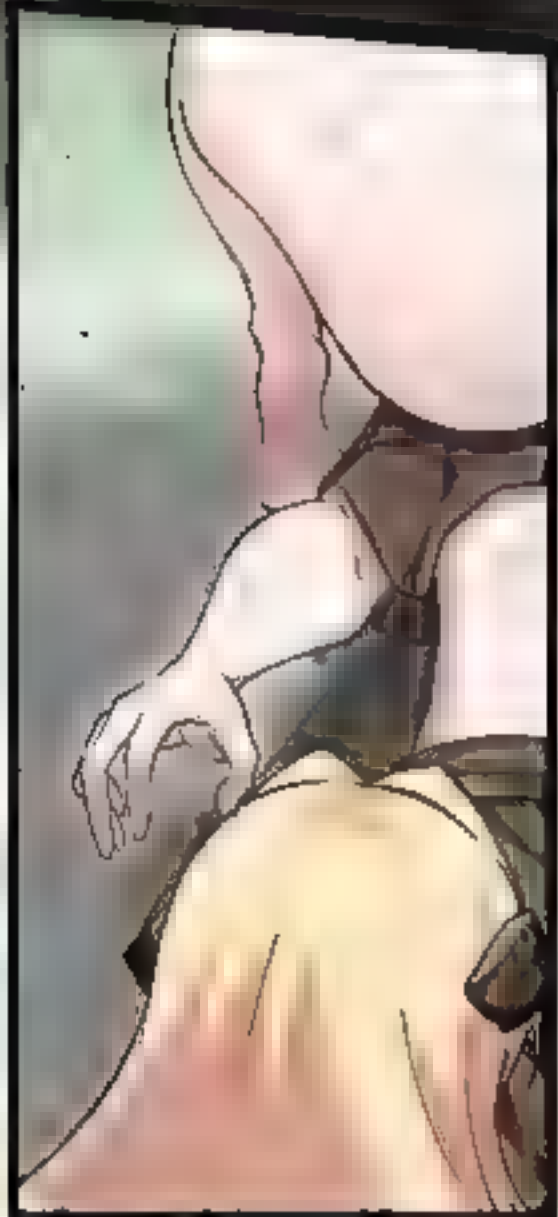
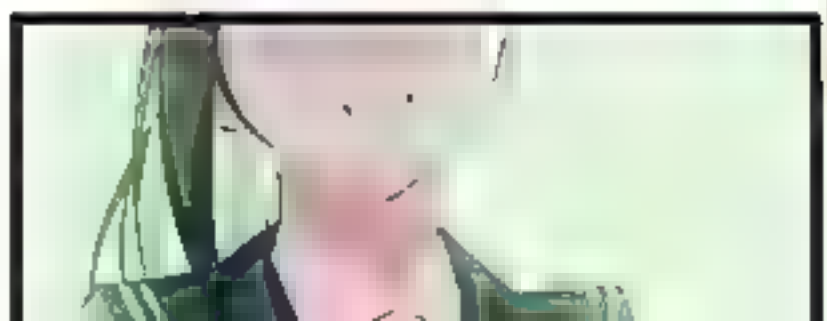
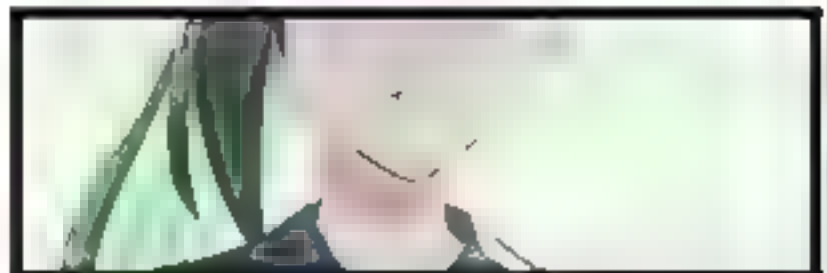
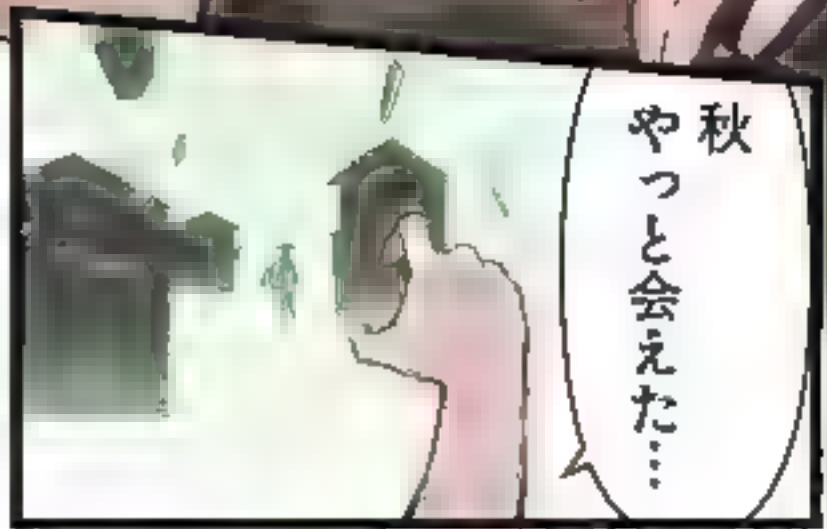
秋…
秋…
まだ動くの!?
サリー
足止めを!

ご主人様！
ほら
ご主人様の大好きな
サリーのおっぱいだよ！

だめ！
止まらない！
なんて力なの⁉
あたしの力で
止められないなんて
ご主人様 すごい！
何やってんのよ！
今はなんの言葉も
届かないわ‼
あぁもう！ 面倒な男！

ズズズズ
もう少しです！

ズサッ
この借りは
返してもらうからね！
あたしに触れないでね！
舐められると
力が抜けちゃうから
んぐっ！

はあ はあ はあ！
あっ あっ
んあ～
だめ！夢が上書きできない！執念が強すぎる！
秋 やっと会えた…

!!
ゴオオオオ
ひゃああ！
助けて！
私の力は
必要ないみたい

あら
忘れ物があるわ
フワッ

リヴたちが制服姿に…!? ★後半の更新をお楽しみに!

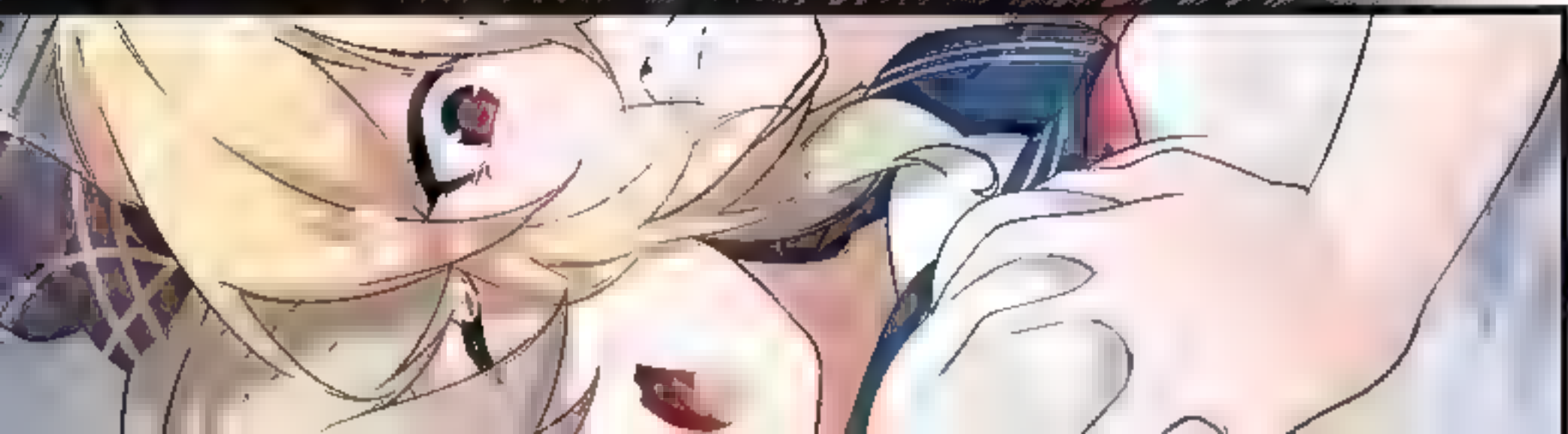
起きなさい！
バタン
呑気なものね
ユウヤが
どうなってもいいの!?
ギュッ

痛っ！
ひどい〜！
起きてたよぉ
目を閉じてただけだもん

何か変わったことは？
あるよ！
後ろ見て！

あいつは… 秋!?
ユウヤの隣は私のものよ!!

もう少しで
顔が見えそうなのに！
座って！ 夢魔が
私達を連れて
夢の断片の間を
渡っているわ
顔が見えるかどうかは
ご主人様の執念の中に
彼女の顔が存在するか次第…
あなたが起きる前…
この「バス」は
停留所を四つ通り過ぎたわ
もうすぐ次の停留所よ
そこがおそらく
この路線の終点
——きゃっ！

海と砂浜!!
気持ちいい〜〜!
私には今まで
想像できなかった
場所だわ

遊んでる場合じゃないわよ！夢魔を追いかけてるんでしょ!?
ご主人様は見当たらないけどこの人どうする？
力は全部失っているみたい
連れていくしかないわねこの状態ならユウヤも封印しやすいでしょうし
マリアこれからどうするの？ほかに人はいるの？

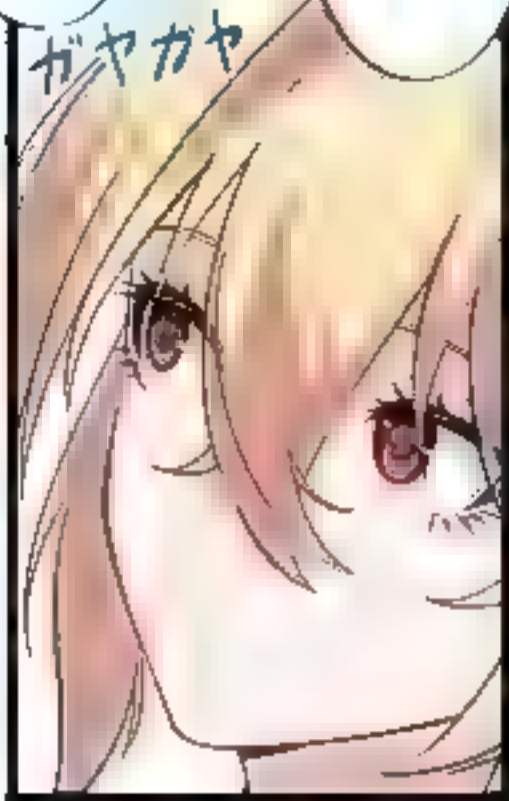
夢の中でおかしなことをしていると住人に攻撃されてしまうわ
まずはこの夢に馴染むことよ
チッ あんたはいつも突然 出てくるわね
夢の力を借りて自分に似合う「水着姿」を想像しなさい夢魔の真実に辿り着く第一歩よ

これは海辺用の
パジャマ？
パジャマじゃなくて
水着よ！
ご主人様は
あたしの素肌が好きだから
着ない！
彼女はどうする？

これでよし！
適切な服装になれば
夢は次の段階に
進むでしょう
静香ちゃん
ジュース買いに行こう！
あははははは！
焼きそば食べる人ー？
ガヤガヤ

アグネス
ユウヤはどこ？
夢の中心地から
気配を感じる…
ご主人様は
きっとそこよ！

う〜ん…
ここは？
あ！起きた！

いた！

手間をかけさせてくれたわね！覚悟しなさい！
ユウヤ！
つづく★次回更新をお楽しみに！

まったく！
あんたを探すのに
どれだけ苦労したと思う？

サリーも頑張ったよ！

何よ　その顔
不満があるわけ？
ここを出たらたっぷり
お礼をしてもらうわよ！

あたしにもちょうだい！

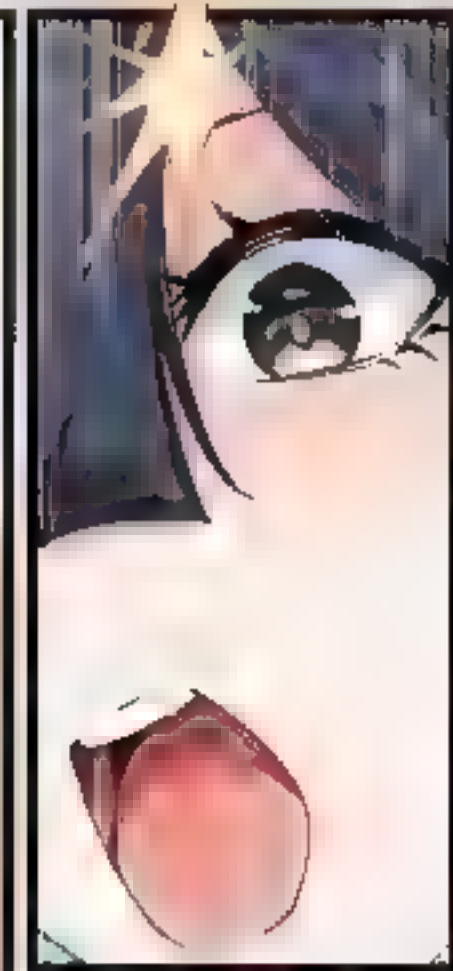
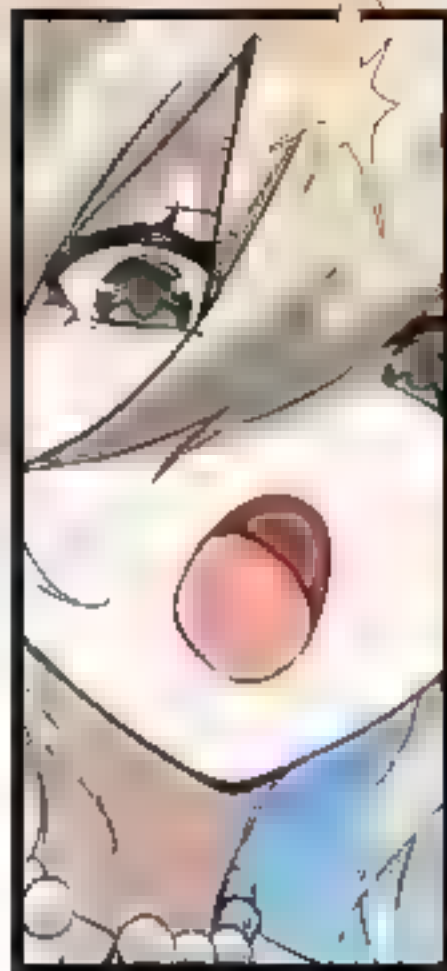
落ち着いて
ユウヤは今
夢魔に魅せられて
記憶を失っているわ
頑張ってきたのは
私達よ
部外者は
黙っててくれる？
任せるわ どのみち
目覚めさせるには
あなたの力が
必要だもの
あんた たまには
いいことを言うのね
で どうやったらいいの？

それは自分で見つけなさい口に出したらダメよ夢魔に聞かれてしまうから
あんた達手伝いなさい
私にしかできない方法…
ふんっやってやろうじゃない
サリー マリアユウヤを持ち上げて顔は下向きにね

ちゃんと勃つかしら？
どうやら本当に意識がないみたいね私達の水着姿を見ても無反応だなんて

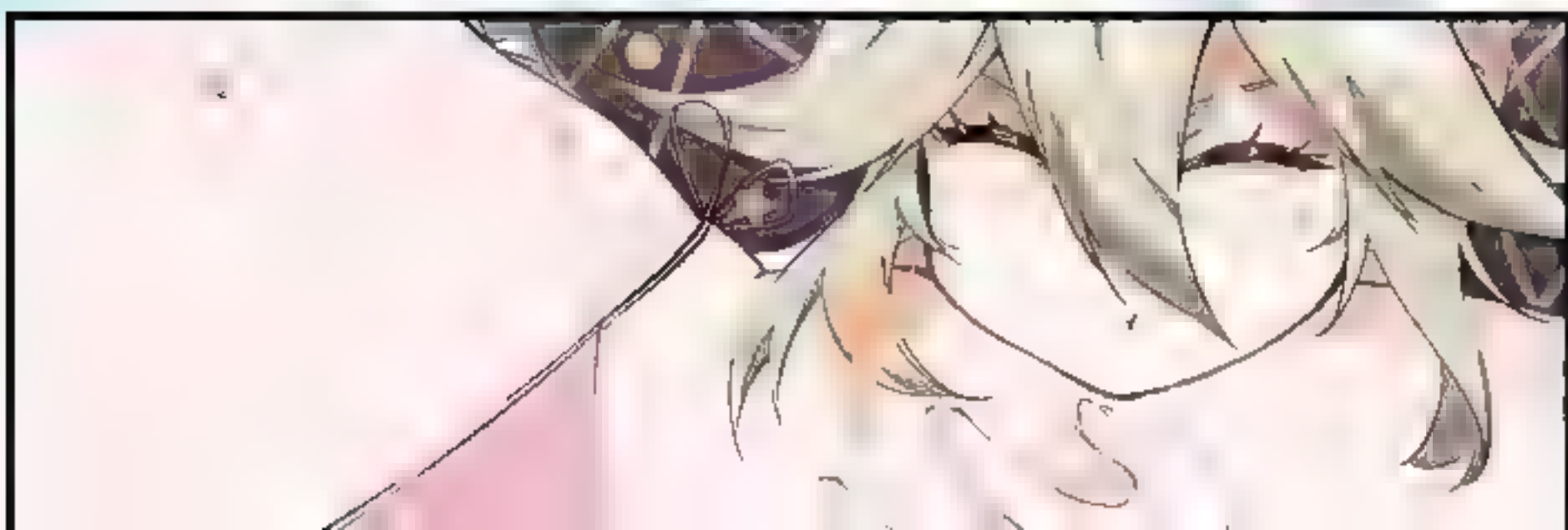
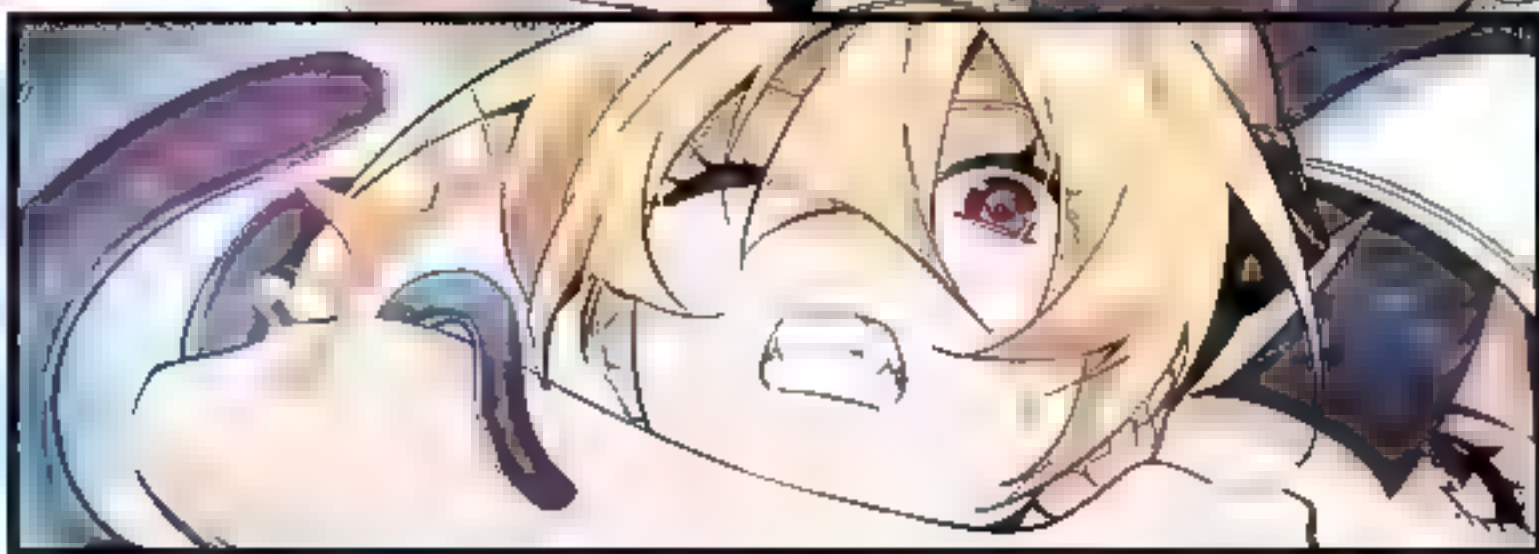
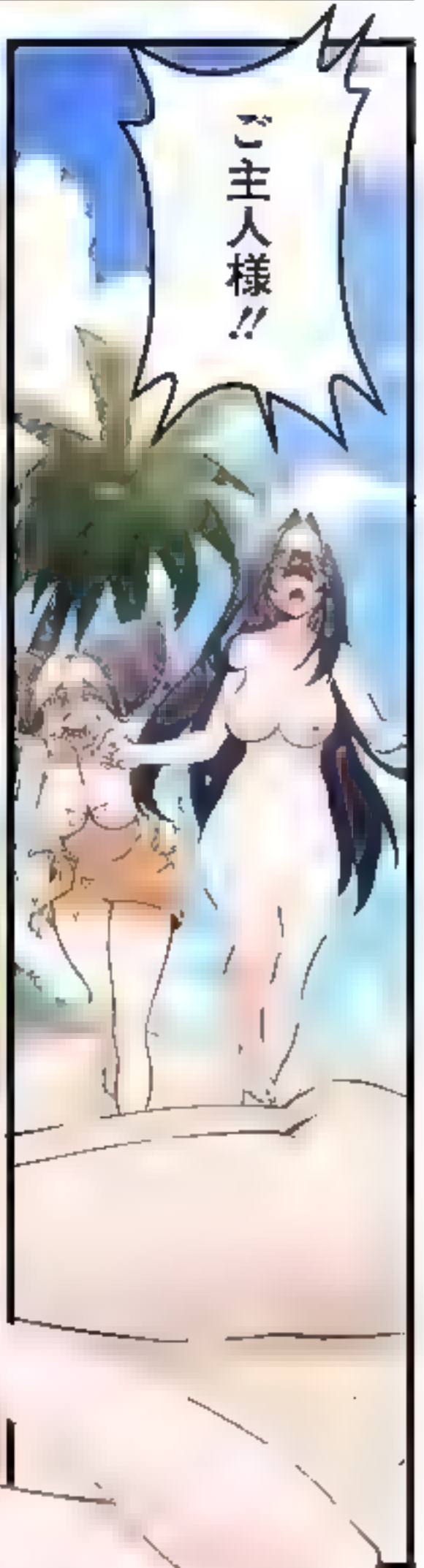
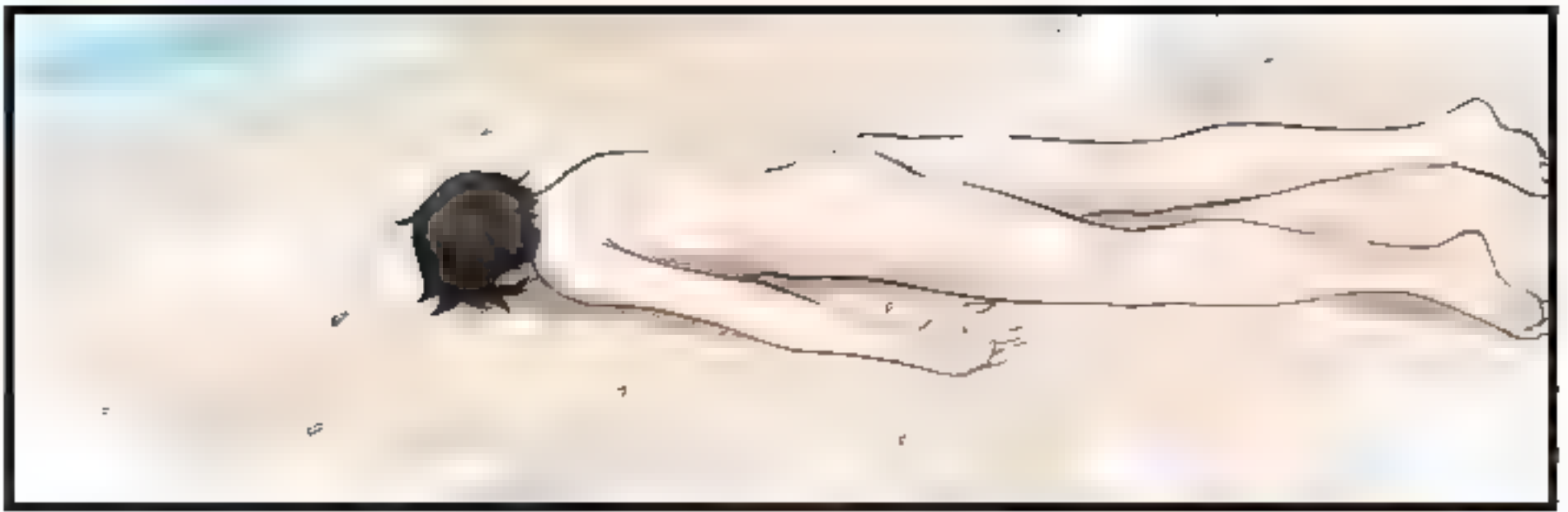
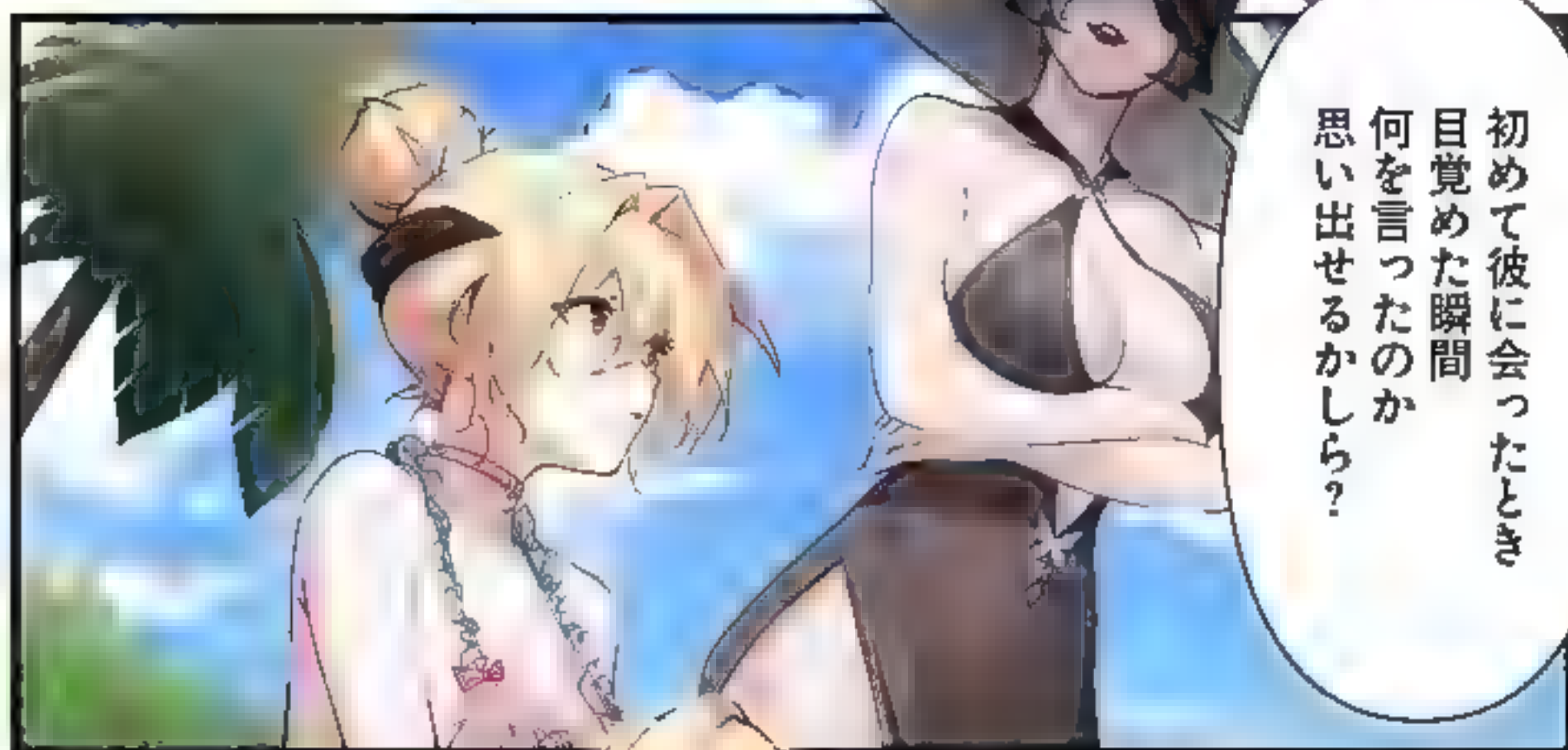
んぐっ
ムカつく！
あ！ずるい！
ご主人様を
独り占めする気!?
あたしもシたい！
しばらくご主人様と
シてないっ！
違うわよ！
みんなでここを
出るためよ！

そのままユウヤを
落として！
もう！あんた達！
この夢から無事に
脱出したいなら
私の言うとおりにして！
えっ

ダメ！

ちょっと！
ご主人様が
怪我しちゃう！
ご主人様を
傷つけることだけは
許せないわ

わかっていないわね！
そもそも
ユウヤの能力は
私が開発したんだから！
ユウヤとこの夢に
「関係を持たせる」こと…
それが夢と夢魔に勝つ
カギになるわ！
さあ！
やるわよ！

リヴを止めて！

うわ！
どう…？

ご主人様!!
あぁ… サリーはご主人様も息子ちゃんも守れなかった…
痛そう… 大丈夫？
いいのよ どうせ意識はないんだから
でも そう簡単にはいかないみたいね

初めて彼に会ったとき
目覚めた瞬間
何を言ったのか
思い出せるかしら？
何を…
イヤな言葉ね
つづく ★次回更新をお楽しみに！

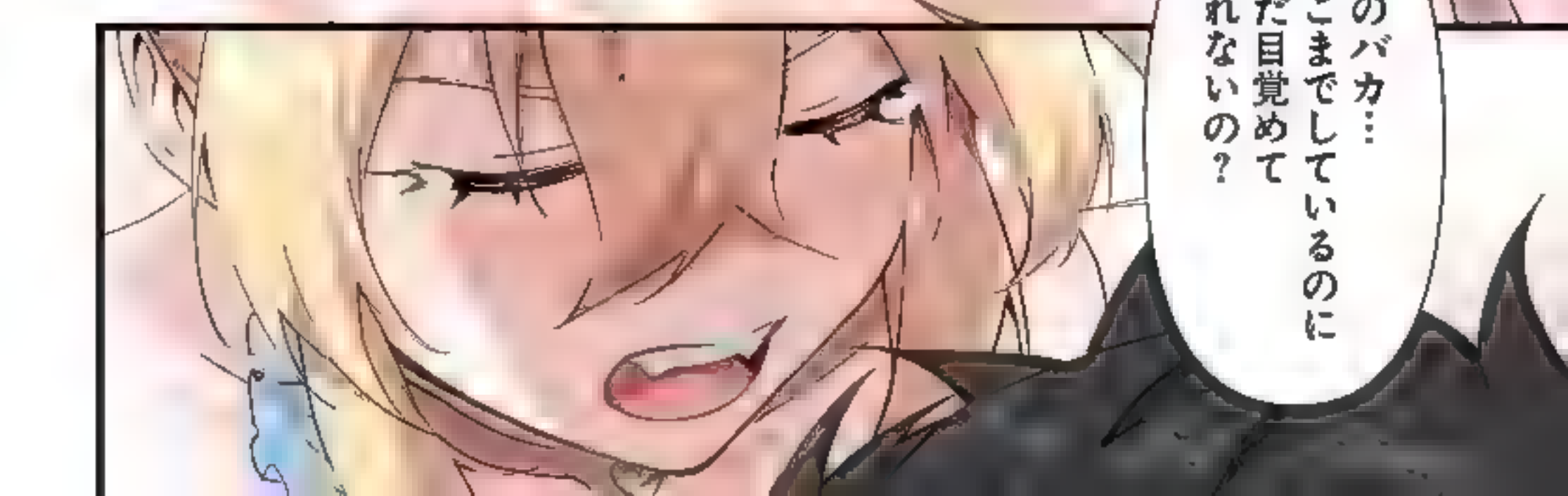
最初から
方法はわかっていた…
そうよね？
さあ
怖がらないで

元の服に着替えなさい！
さあ 好きにしなさい！
新人にはやさしくしてよ！
ううっ…ひどい！
え？いいの？

じゃあ あれ…
ヤってみたい
ご主人様のここも
入りたがってるよね？
ご主人様
いきます…

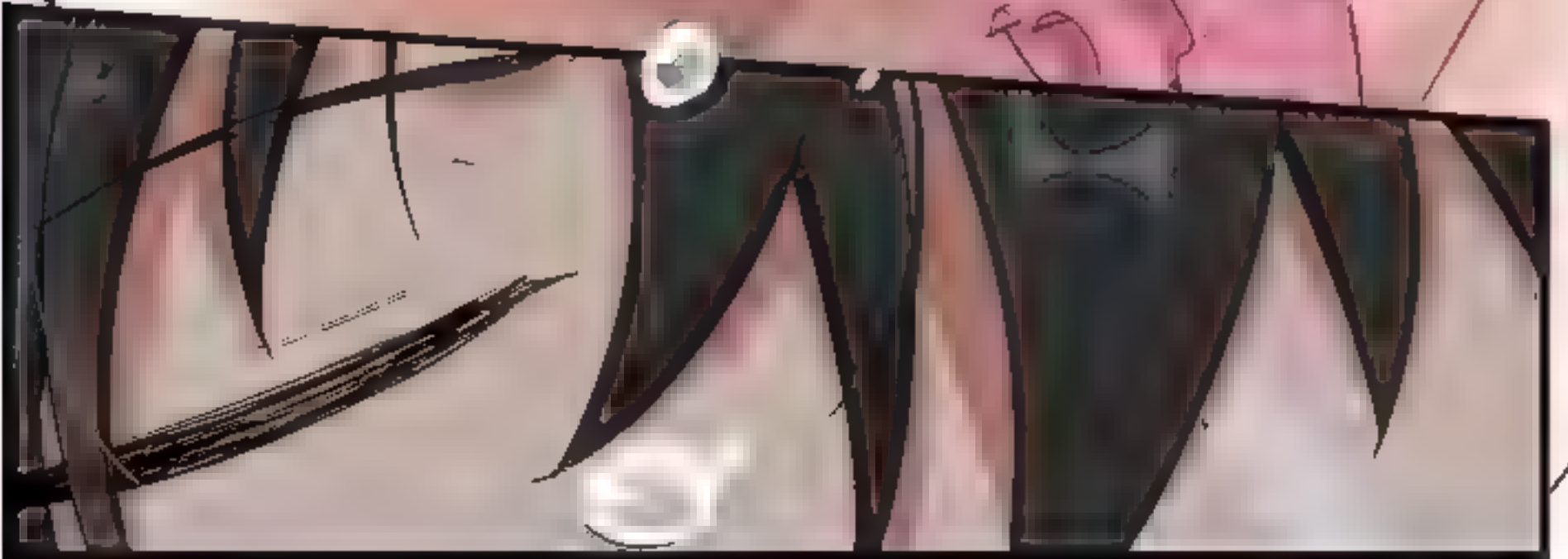
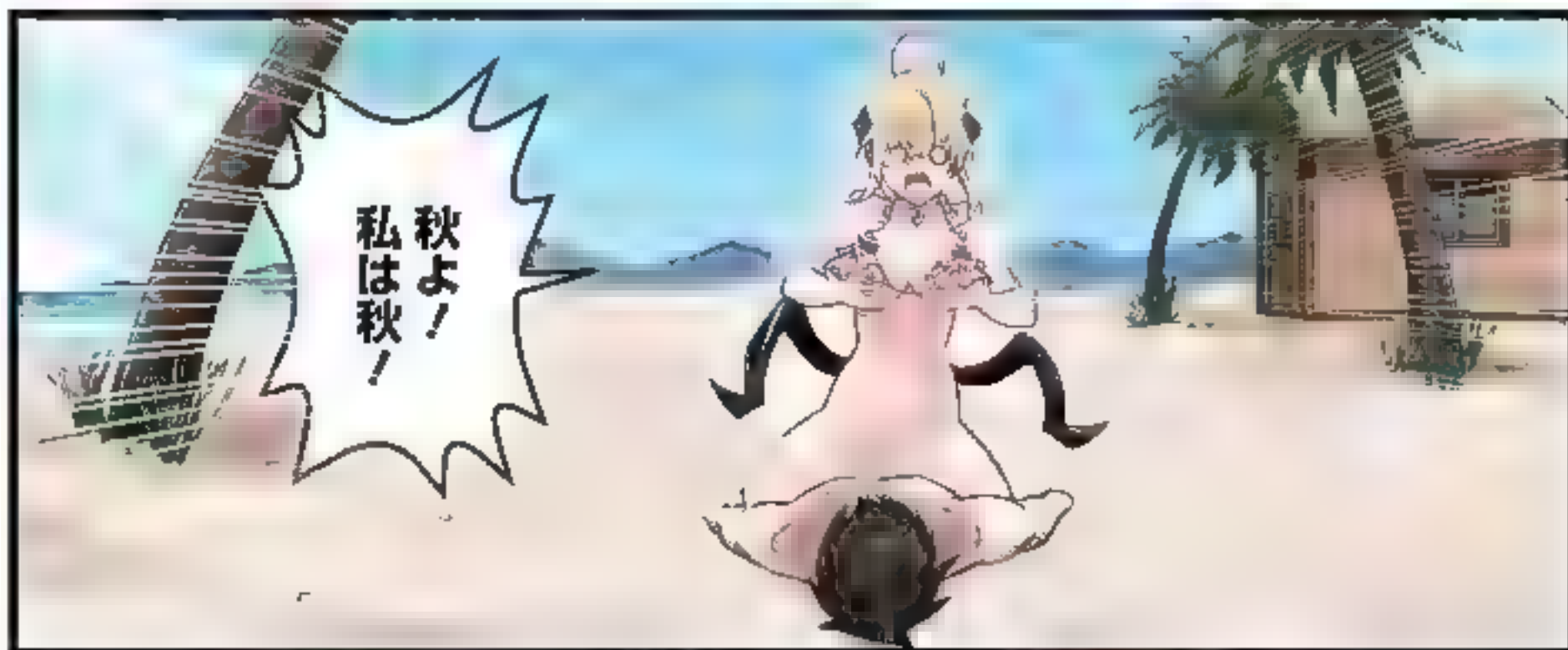
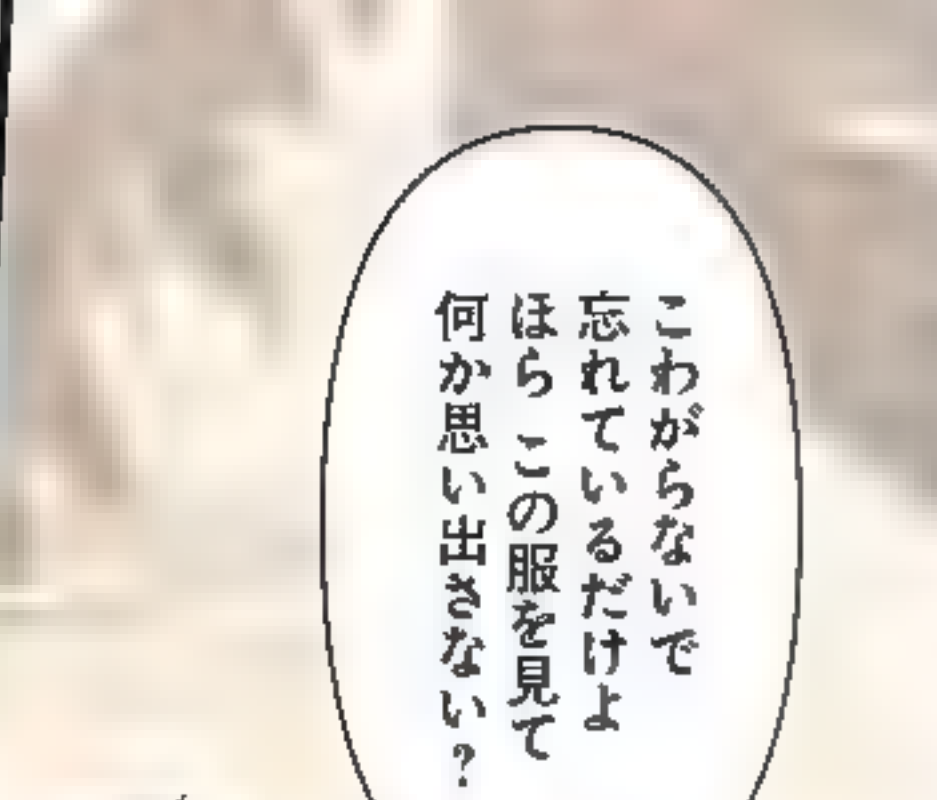
ユウヤ この服装なら
記憶も戻るでしょう？
このバカ！
早く目覚めなさいよ！
気持ちいい…
ずっとご主人様と
こうしていたい
あん！ あん！
早く代わって
待ちきれないの！

ぐちゅ
はぁん!
あん! イク!
まだ起きないようね
このままだと
ユウヤの魂は
消えてしまうわ
服だけじゃ
ダメってこと?

痛い！
ユウヤ！目覚めて！私にできることならなんでもする！
ああ！ご主人様！まだこれからなのにぃ！
わ…
私は…
私は——
秋よ！

聞こえる？
私…あんたがずっと
会いたがっていた秋よ
どういうこと？
リヴじゃ
なかったの？
わからないわ
知り合った
ばかりだし
このバカ…
ここまでしているのに
まだ目覚めて
くれないの？

この夢がそんなにいいの？ならこのまま夢の中で死んじゃえばいいのよ！
意識もないのにこんなに大きくして！ずっと秋とこうしたかったんでしょう⁉
私からのプレゼント気に入った？
このまま死ねるのを幸せに思うことね！

はあ…はあ… あんたは 最初からそう… 誰も好きにならない 私も含めて…
なんで目覚めて くれないの？ なんで私の声が 届かないの？
恨んでいるの？ 私があんた達を 引き裂いたと 思っているの？
あんたのことがこんなに 気になるのはなぜ？ こんなに辛いのは 夢の影響なの？
ひどいわよ… 私と繋がっていても には 衝動も激情も愛情も… 欲望すら映ってない…
好きじゃないなら なんで 私とするのよ！

死ね！死ね！
私も一緒に死ぬ！
でも…でも…
ユウヤ！行かないで！

誰だ？
起きた⁉
秋よ！あんたの秋！戻ったのね！本当によかった
お前は秋じゃない

こわがらないで
忘れているだけよ
ほら この服を見て
何か思い出さない？
お前は秋じゃない
全部わかってる
お前は…
俺の好きな
リヴだ
暗闇に囚われたとき
お前の声が
聞こえてきた

誰があんたなんかを心配するって!?
……この下等な人間風情が！私は欲望を司る元半神よ！
もう！さっきまでのことは全部忘れなさい！
あんたなんかに私を好きになる資格はないわ！私の足でも舐めていることね！
ほら 聞いたわよね!? ユウヤは私を選んだわ！今後は私がリーダーよ！

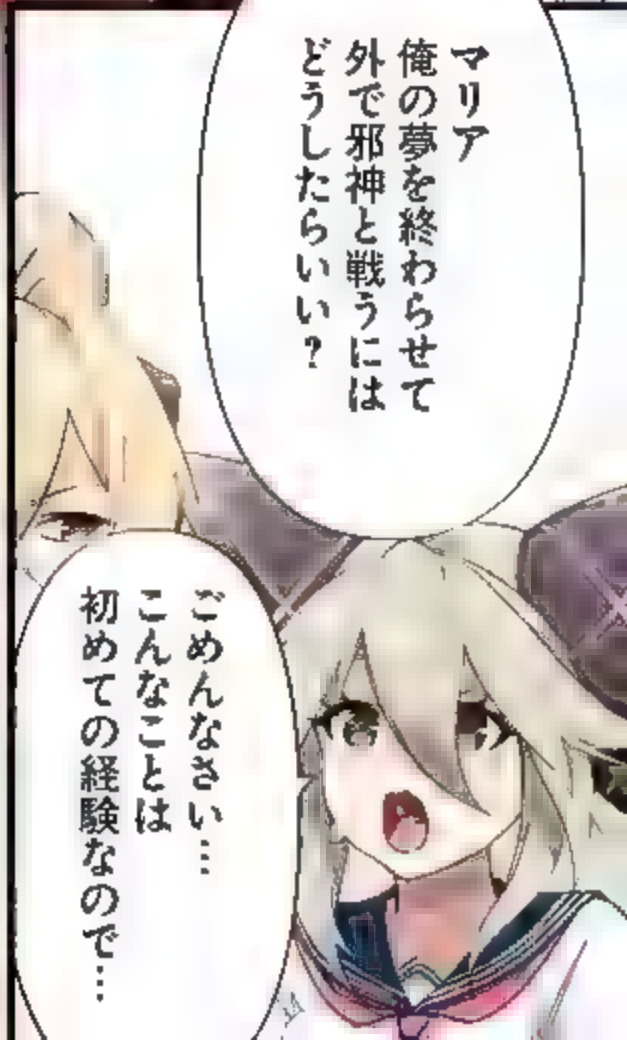
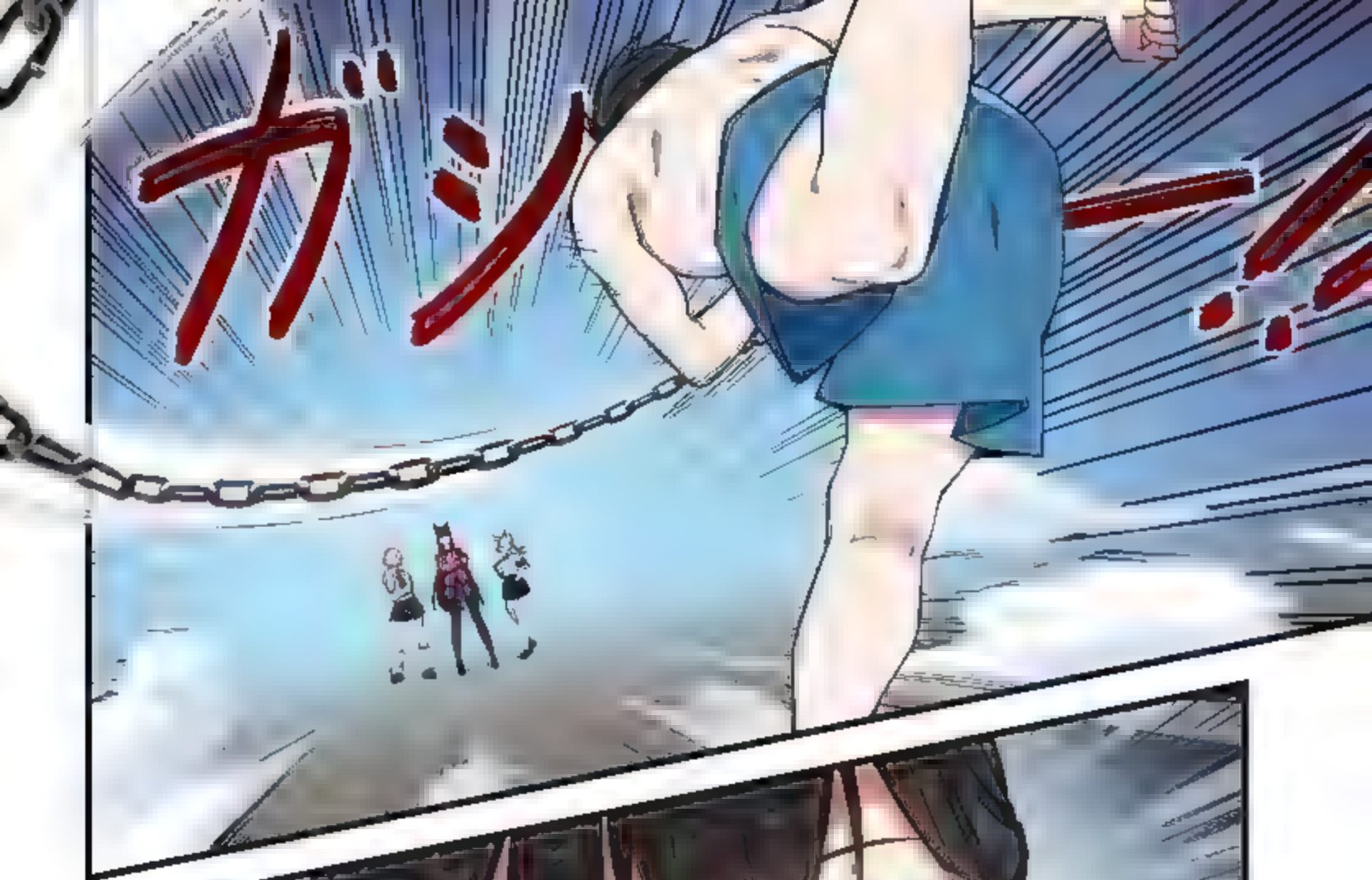
狂ったみたいだね
よかった ご主人様が 目覚めた
よくやったわ では 次の難関は どう乗り越えるかしら？
つづく★次回更新をお楽しみに！

次の難関はどう乗り越えるかしら？お手並み拝見ね
おい！そこで何をしている!?
校則違反だ！お前達を…
連行する！

気を付けて！
夢が切り替わるわ
ご主人様に掴まって！
ズァアア…
校則に違反する者には
罰則を科さねばならぬ！

誰よ あんた達
突然何を
言っているの!?
そういえば
さっきから邪神の
姿が見えないわ
でも力は感じられる…
夢から目覚めて
外にいるのね
サッ
みんな
今までご苦労だった
次は俺がやる

マリア
俺の夢を終わらせて
外で邪神と戦うには
どうしたらいい？
ごめんなさい…
こんなことは
初めての経験なので…
この役立たず！
なんだったら
できるのよ！
ひぃぃん
ごめんなさい！
パンッ
パンッ

もういいわ！
早く方法を
考えなさい！
うう…
……
ひとまず
今までのやり方で
いくぞ！
ジャラララア!!

ガシィーン!!
ガガガッ
バシィッ!!
ジャラ
校内において数々の淫行を働いた罪により厳重注意と罰則を科す

風紀委員に危害を加えた罪も追加だ
全員
退学処分とする！

退学はだめ…
これは夢から
私達への攻撃
ヒリヒリ～
なんとかしないと
無限の暗闇を永遠に
彷徨うことになるわ
この夢の創造者は
ご主人様…
ルールさえわかれば
彼女達を撃退できるはず
だんだん記憶が
戻ってきたが
完全回復までは
まだかかりそうだ…

グッ

きったなーい
速い！まったく見えなかった
何？興奮してるの？ほら もっと舐めなさい
まずい 抵抗できない 夢の制約によるものか？
！

離せ！
ユウヤが舐めていいのは
私の足だけなのよー！
みんな！
いつのまに!?
この力
どこかで…！
ご主人様
わかったわ！
はっ
目覚めた邪神は
夢魔に会って
夢のルールを私達に
不利になるように
改変させたの！

風紀を乱したヤツはね
この学校では絶対
許されないの
諦めて
罰を受けなさい
処罰が済むまで
絶対逃さないんだから!
思い出すんだッ!
夢魔は秋に対する
俺の執念から生まれた
その夢魔が生み出した夢なら
どこかに俺の失われた記憶も
存在するはず

秋⁉
もう！遅いわよ！
ごめん 風紀委員を避けながら来たら遠回りになっちゃって

ユウヤ
ごめんね
私ね…明日引っ越すの
卒業旅行で海に行く約束
果たせなくなっちゃった…
そうだ！
楽しみにしていた
卒業旅行…
秋は来なかったんだ

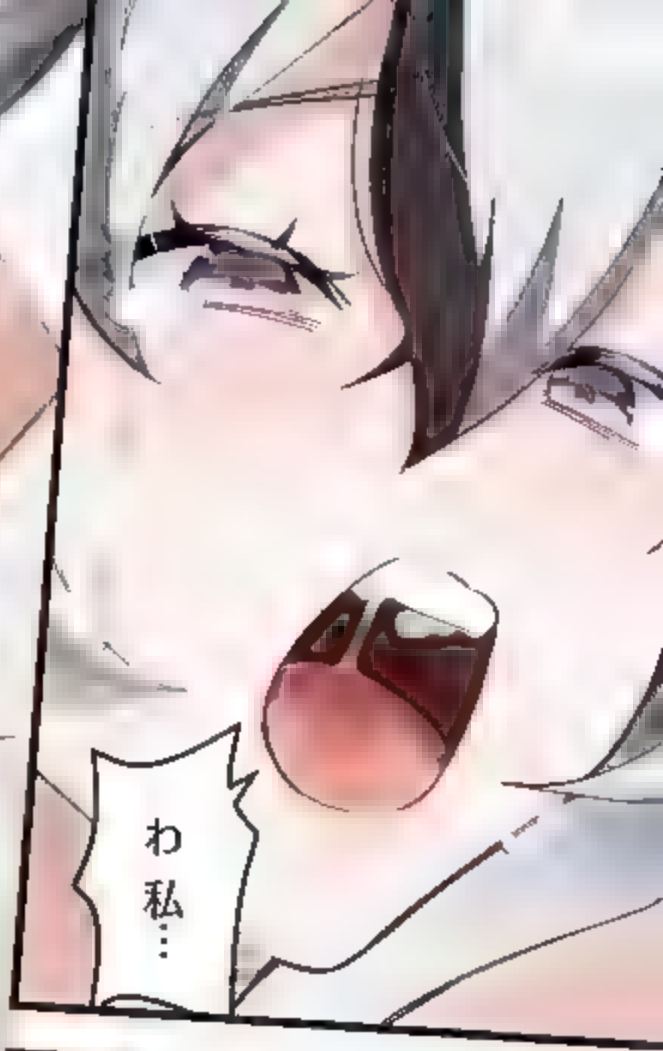
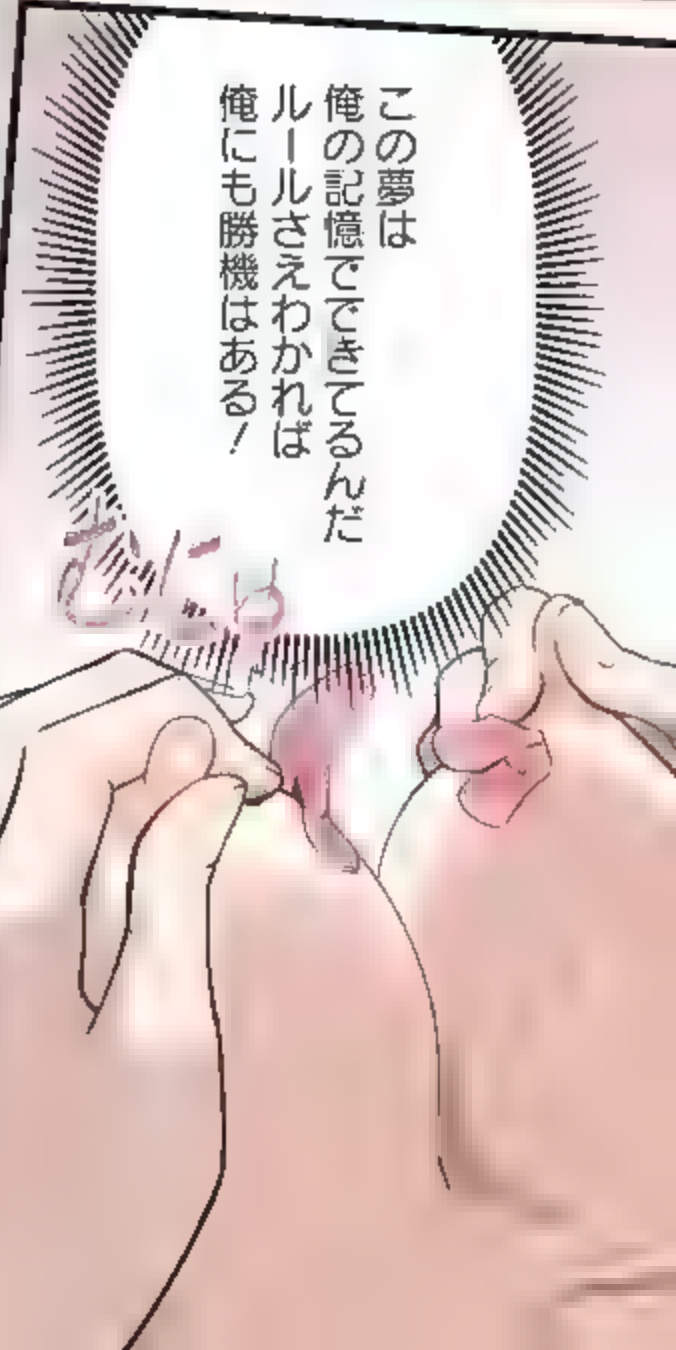
卒業の前日
秋は家族と他の町へ
引っ越していった
すべては俺の
妄想だったんだ
海で秋に
告白しようと
思っていたんだ
!
その未練が
俺の夢魔になった

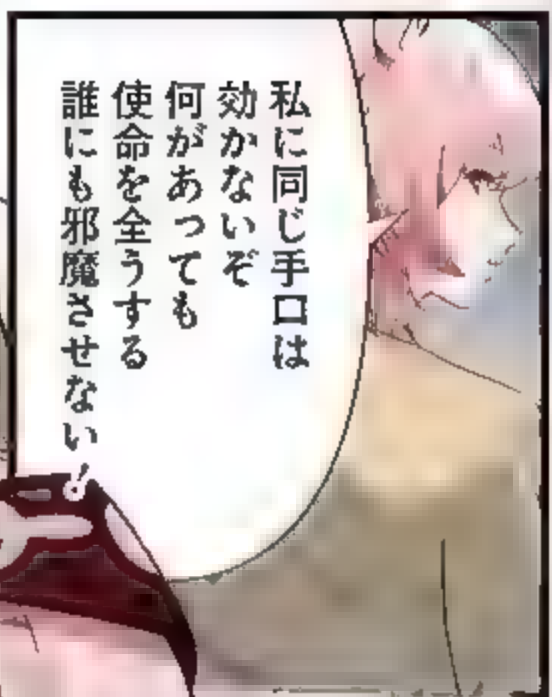
お前達が
邪魔しなければ
なな 何を
するつもり!?
私は風紀委員よ!
秋との
最後の時間を
もう少し長く
過ごせたんだ!

どういうこと？
さっきまで
まったく抵抗
できなかったのに！
夢魔が生まれた
原因がわかったんだわ！
それで
夢の支配権の一部を
取り戻せたのよ！
つづく★次回更新をお楽しみに！

退学処分は決まった
容赦はしない！
あ！
バシィ
くっ！
ユウヤが完全に
夢を支配したら
全員に私の足を
舐めてもらうわ！

だ…だめ！
何を…！
「風紀委員」であってもこんなことしたら
校則違反になるんじゃないか？
う…嘘…
こんなこと…
嫌…やめて！

自分をちゃんと見てみろよ
下の口は俺を離さないように吸いついてきてるぞ!
そんな!私の体…!
「風紀委員」を続けるのか?だったら動きを止めるぞ!

わ 私…
この夢は俺の記憶でできてるんだ ルールさえわかれば俺にも勝機はある！
いやぁ やめて もうイク！
ぐぷっ

あん!!!!イクイクイクゥ!!!
はぁ
んぁ
風紀委員…やめる…
ぶちゅ
ぐぷっ
んあーーーー

私に同じ手口は
効かないぞ
何があっても
使命を全うする
誰にも邪魔させない！

パアンッ
どうかな？あいつも最初は生意気だったがな
フン
ならば試してみるか？
ユウヤ私を下ろして！助太刀するわ！
ズルッ

サッ
それだけか？
ググ

スルン
私が未経験だとでも思っていたのか？
ススッ
私は元不良だぞ？
犯される覚悟などとうの昔からできている

ぱぁ
ぐちゅ
ん!
フン この程度は
いくらでも
経験している
はぁ

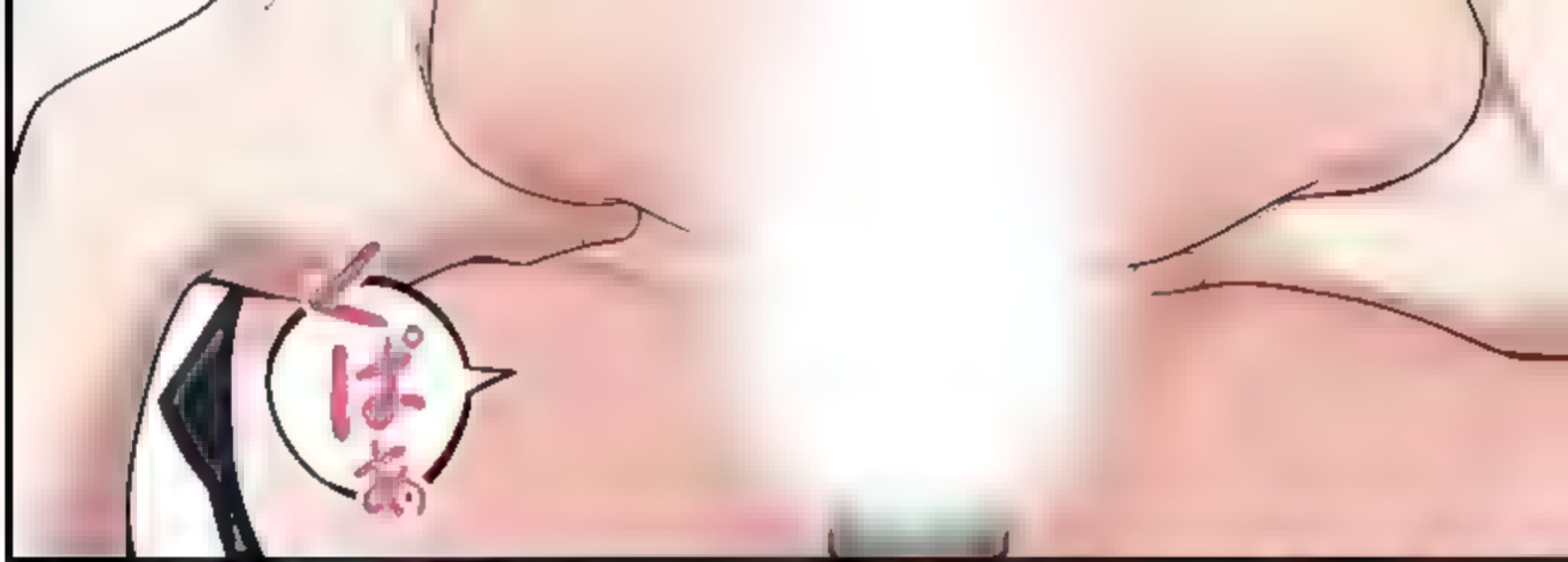
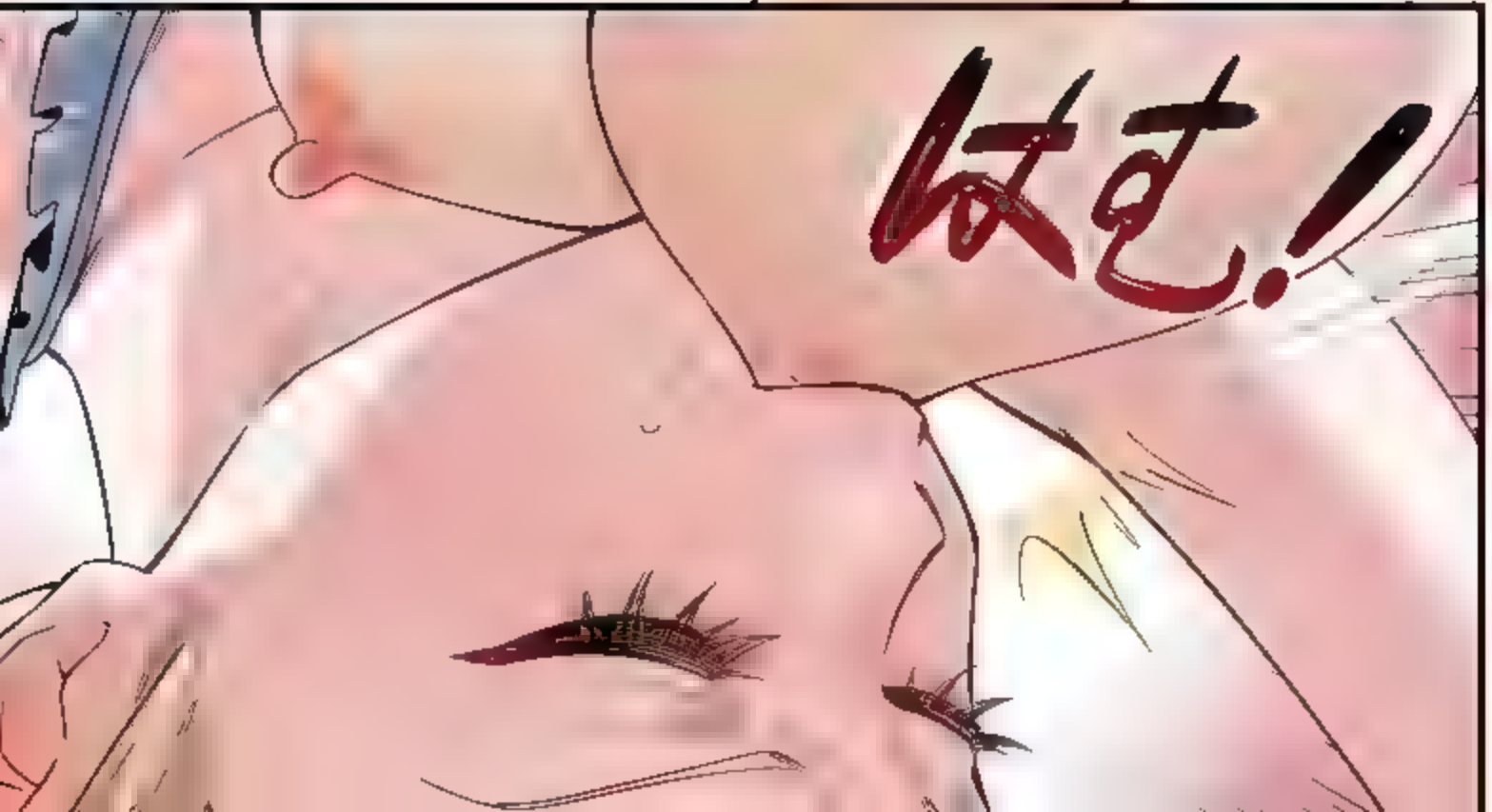
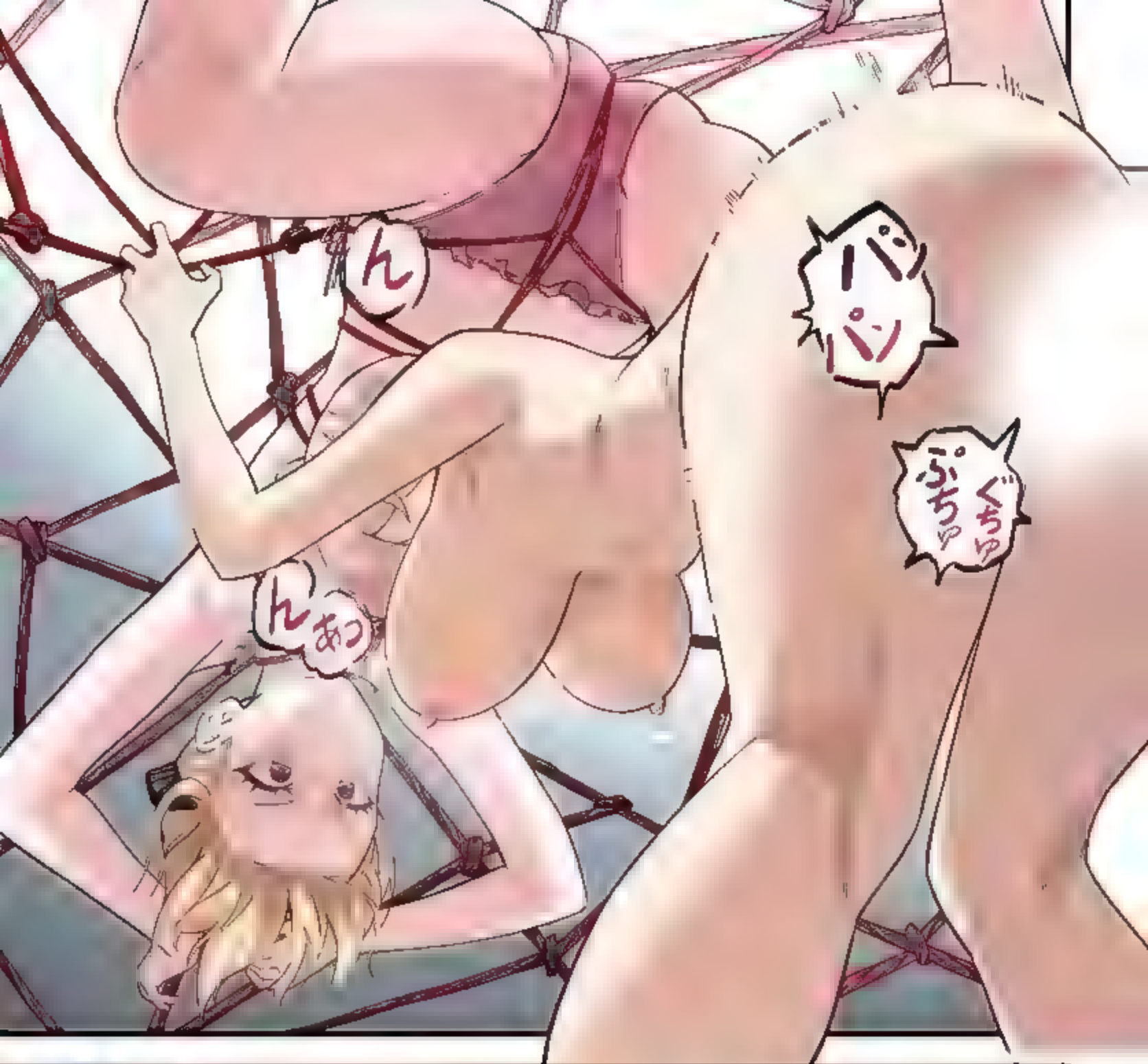
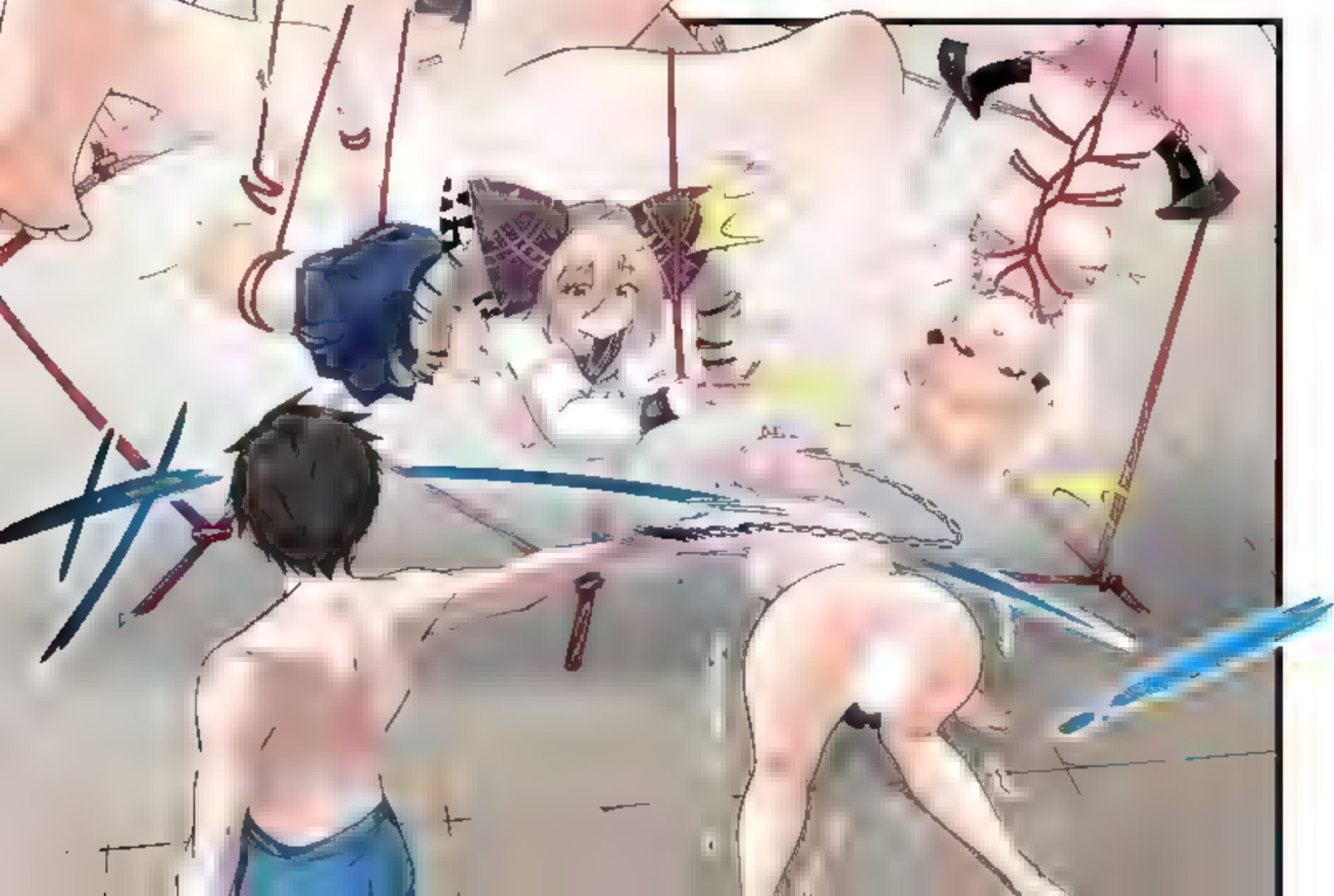
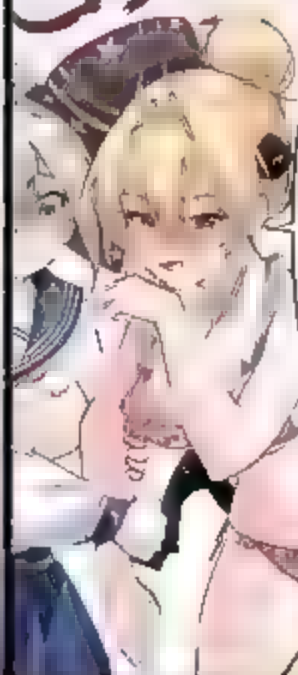
つ
ングリ
んん
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
ごくり

パンパン
ぐちゅぷちゅ
ん
んあっ
はむ!

食ってやる！
マリア！
あんたも！
んああ
ん

ああああああ！
グチュ
グプッ
ひっ
んあん
リヴ よくやった！
もう少しだ！
あん

イクイクイク!!!!
あああああ
ぐちゅ
キュウキュウ
ぬぷっ

ち…
窒息する…
早く
下ろして…
ぴくっ
ぴくっ

さすが私！
あんなやつ
ひとひねりよ！
それにしても
あんたの夢
変なの多すぎない？
残り一人だ
やつはどこに
行った？
サリーの姿も
見えないぞ
サリー？
なんのこと？
サリーって
誰？
つづく★次回更新をお楽しみに！

サリーって
何よ
誰のこと…
でしょうか？
何言ってるんだ
一緒にこの夢に
入っただろう
触手の力を
俺にくれた
あのサリーだ
触手の力？ 変なの！
そんなのいるわけ
ないじゃない！
私も…
知らないわ

おい
ふざけている
場合か!?
ちょっとユウヤ！
何するの!?
ご主人様…！
やめてください！
あぁん！
ひゃあぁん

すまない 少し焦りすぎた
それとも ご褒美をあげないと 思い出さないのか
バカなこと 言ってないで さっさと 放しなさいよ！
いい加減 怒るわよ！
ほかの女のために 私をこんなに するなんて…！
びく

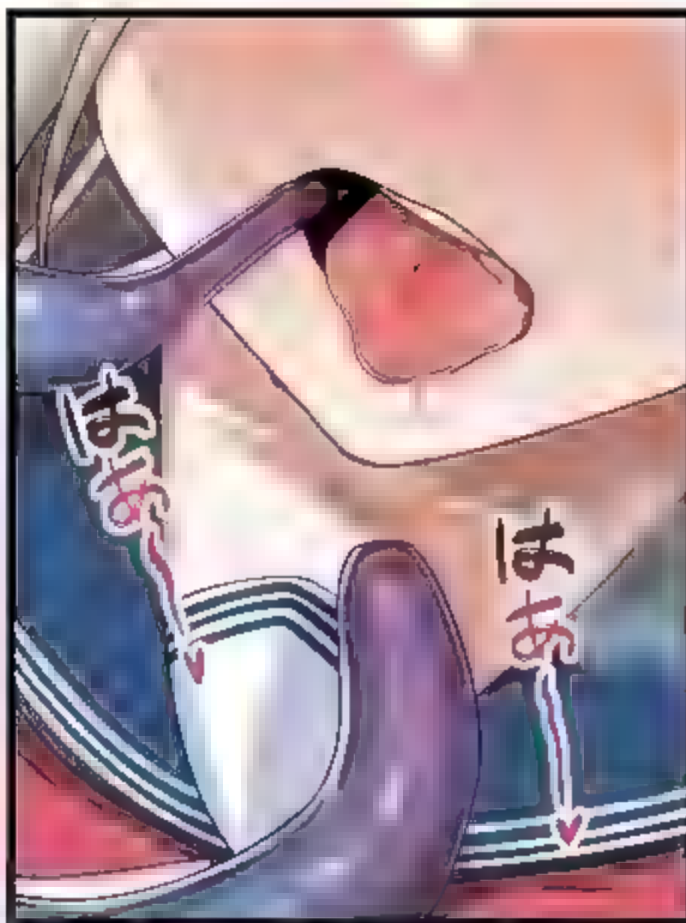
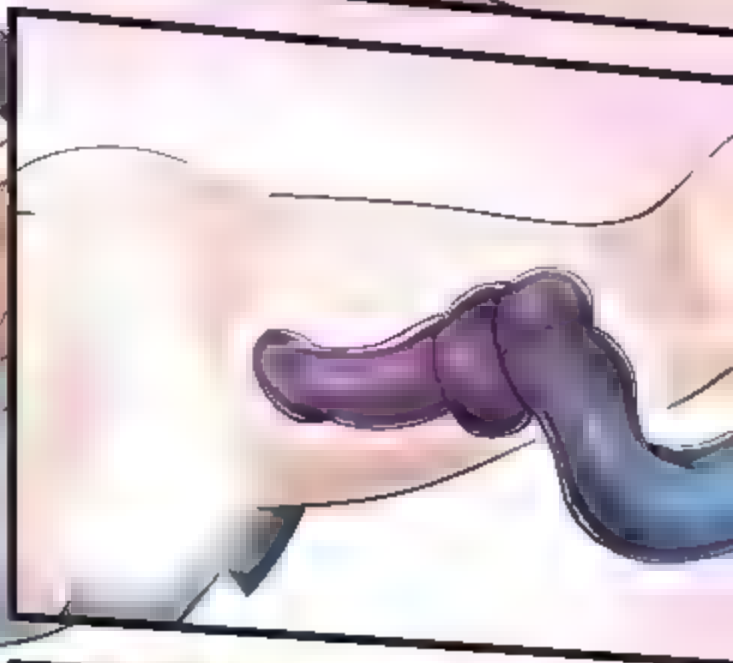
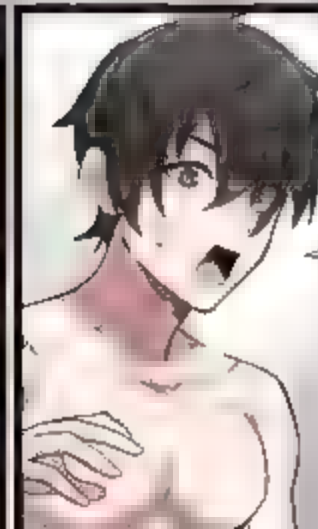
わかってる
!
ここの準備はできてるんだろう？
ユウヤ!!!!
いちいち言わないでよ…！

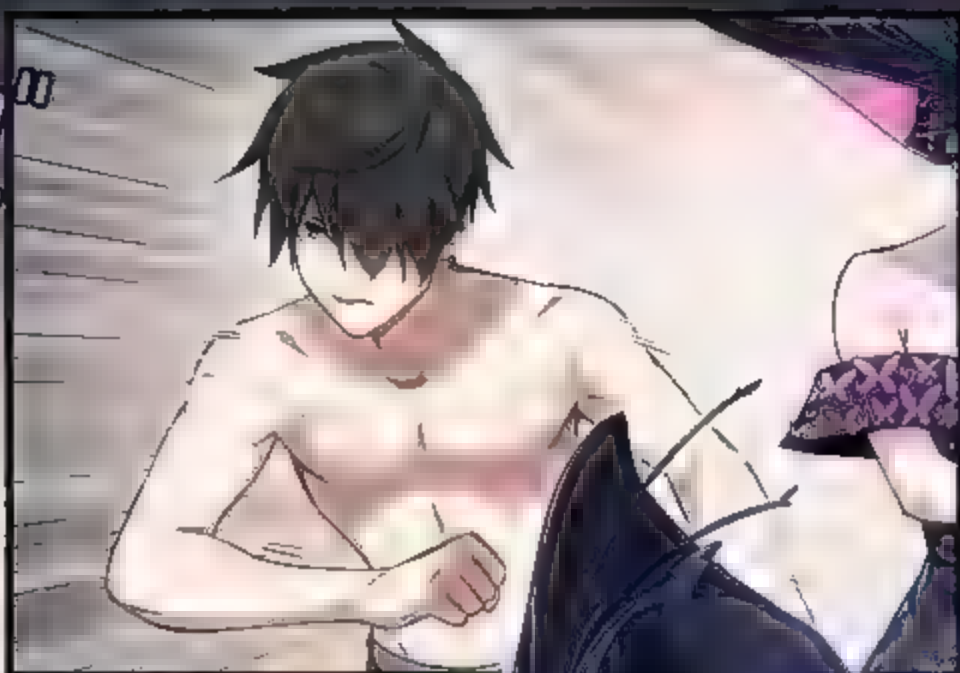
えっ待って！
あっ…あっ…

はあ
ひゃん
あん
はあ
ぴちぴち
ちゅる
じゅる

マリアも
頑張ってくれたな
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
んぐ
うう
れるふ
にゅるる

んぁ
はぁあん
はぁぁぁん
んんぅう
入ったぁ
ぁっ
ごひゅぎん…
ひゃま…
ほれは…

はあ あん はあ…

はあ　はあ
はあ　んあ
ユウヤ…
記憶を取り戻したからなの？
すごかったわ…
満足したか？
サリーのこと
思い出せたか？
本当に
わからないんですぅ

どういうことだ…
サリーの力は
まだ使えているのに…
ご主人様以外
誰もサリーのこと
覚えていませんわ
今まさに敵に
飲み込まれようと
しています
助けに行こう
サリーは
今どこに?
あそこです
あのドアの向こう…

ガシッ!
離せ!
サリーが危険な目に遭っているんだろう?
これは彼女が選んだことです

ビビキッ
バキッ
空間の裂け目よ！
夢が崩れていく…
ご主人様
夢魔の力が
衰えていいます！
夢が終わります！
サリーって人の話
冗談じゃないなら
面倒事になりそうね
あら
勘がいいのね

ちょっと！近いのよ！

さっきまで敵と楽しそうにしていたじゃない

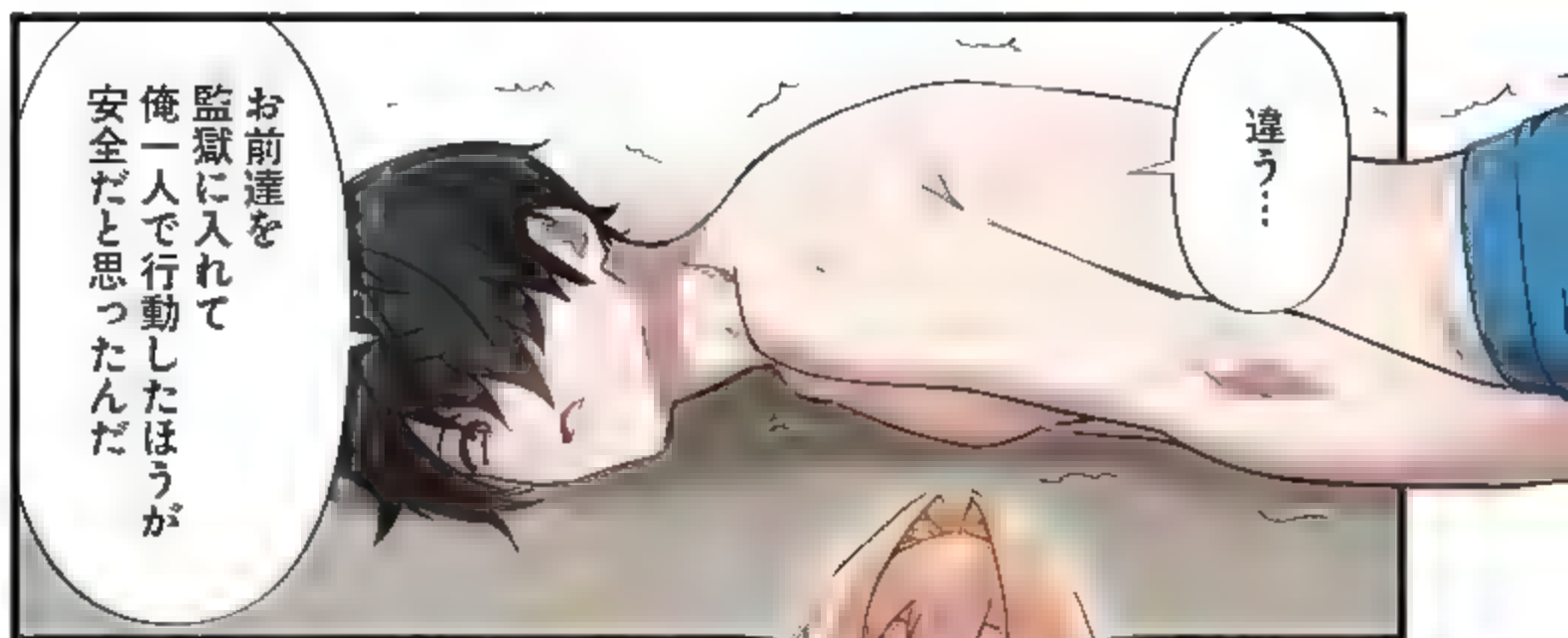
あの探索で…

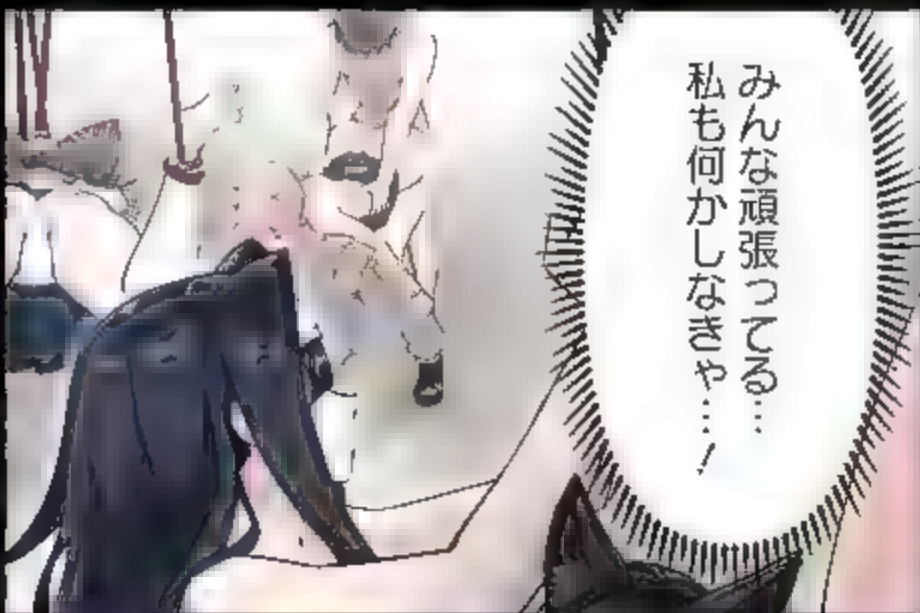
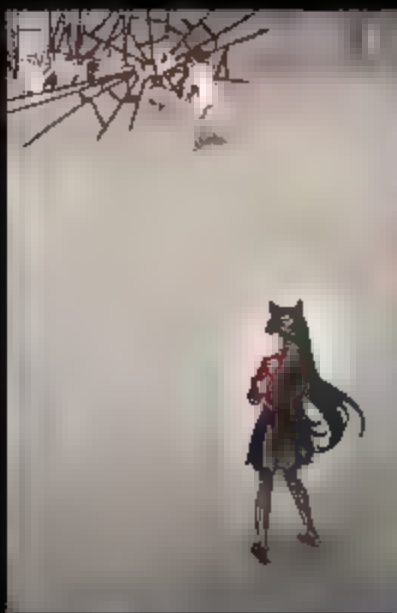
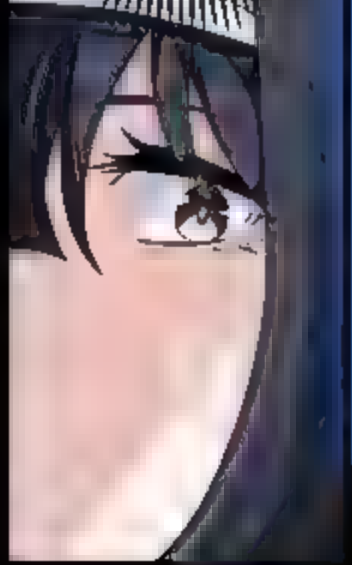
一緒にいた 八人の半神のうち 二人しか 生き残れなかった…

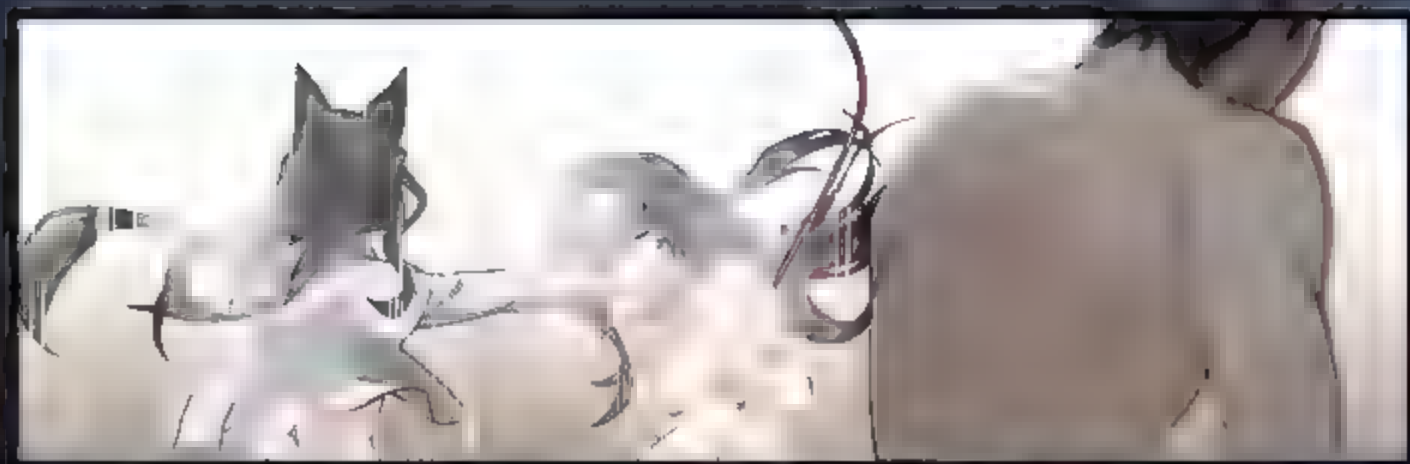
つづく ★次回更新をお楽しみに！

ああん！痛い！

まだユウヤがいいと言ってないでしょう！

ズガーン
ご主人様！あぁ なんてことを…！
ぐああああ
この私をそいつと同列にされるのも気に入らないけどね…
大切な人なんでしょう!?
私が同じ目に遭っても迷うわけ？

違う…
お前達を監獄に入れて俺一人で行動したほうが安全だと思ったんだ
私がそんなに弱いと思うの？行くの？行かないの？どっち？
！
行く！
ガバッ
さあサリーを救い出すぞ！

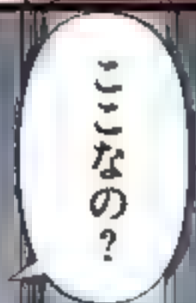
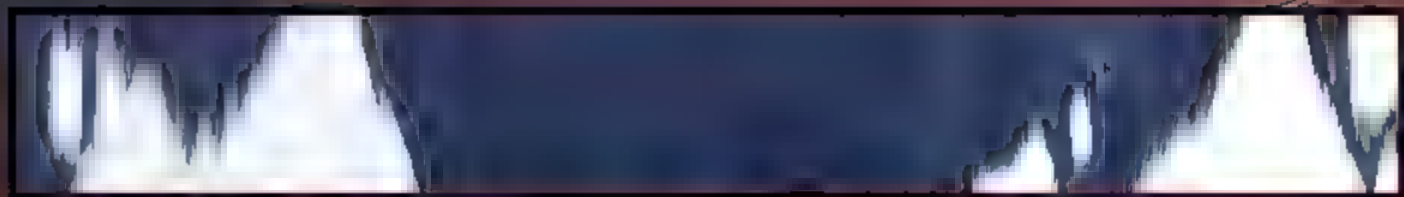
本体には捨てられ
主人からも見捨てられ
哀れなものだな
フン　たかが
触手の欠片如きが
私に盾突くとは

みんな頑張ってる…
私も何かしなきゃ…！
敵は残り一人
彼女を倒せば
この悪夢が終わる…
？
この気配…!!

一度彼女に捕まった
私にはわかる！
間違いないわ！
マリアを
支配していた邪神…
あの人の中に
潜んでいたのね！
ご主人様は
私が守るんだから！
敵の体内に
残しておいた
私の力…
今なら
やれる！

ズ゛ァァ!!
やった!
かかったわね
触手の小娘
この時を
待っていたわ
!

かかった？
私…騙されたの？
そうよ
私は目覚めた後すぐ
この「飲み込み」の力で
夢魔を喰おうとしたの
でも 思ったよりも
夢魔が強力でね
逆に取り込まれて
しまったわ
あなたが彼女を
弱らせてくれたおかげで
体を制御できる
ようになったの

ご褒美よ
私とひとつに
なって頂戴な
はあ
やっちゃった
ご主人様の下で
もうちょっと
成長すべきだった
でも なんでもご主人様に
頼っちゃダメね
自分の夢は自分で掴むの
今の力じゃ
まだあの方に
顔向けはできないけど…

何か考えているみたいだけど無駄よ ここは夢の外側の虚無
助けは来ないわ
降臨せよ！ 私の母体――「深淵の支配者」
私もこいつもすべてあなたに捧げる生贄よ！
少し力を持っているからって傲慢すぎるんじゃない？
光栄に思いなさい 本物の邪神が降臨するわよ
く…
狂ったの？ 自らも犠牲にするなんて！

フン 深淵の支配者を
召喚したところで
何ができる？
あれが来る前に
この夢魔の体で
あなたを喰えば
召喚も失敗するわ！
覚悟はできた？
あなたの
存在と記憶
何もかも丸ごと
飲み込んであげる！

さっき…
深淵を覗いたわね…
もうこの夢は
汚染されたわ…
ここなの？

うわっ なんかいっぱい いるわよ… サリーもこの中に？
全員同じ本を見てる… 生き物について紹介している本かしら…
それになんか おかしいわ…
みんな 妊娠している!?
つづく ★次回更新をお楽しみに！

もしかして…
この人たち
お腹の中に…
あんたの世界
さすがに乱れ過ぎ
なんじゃないの？
こいつらは
俺のクラスメイトじゃない
これは…
一体なんの気配だ？
ゴオオオオ
とても人間のもの
とは思えない…
何か怪物のような…

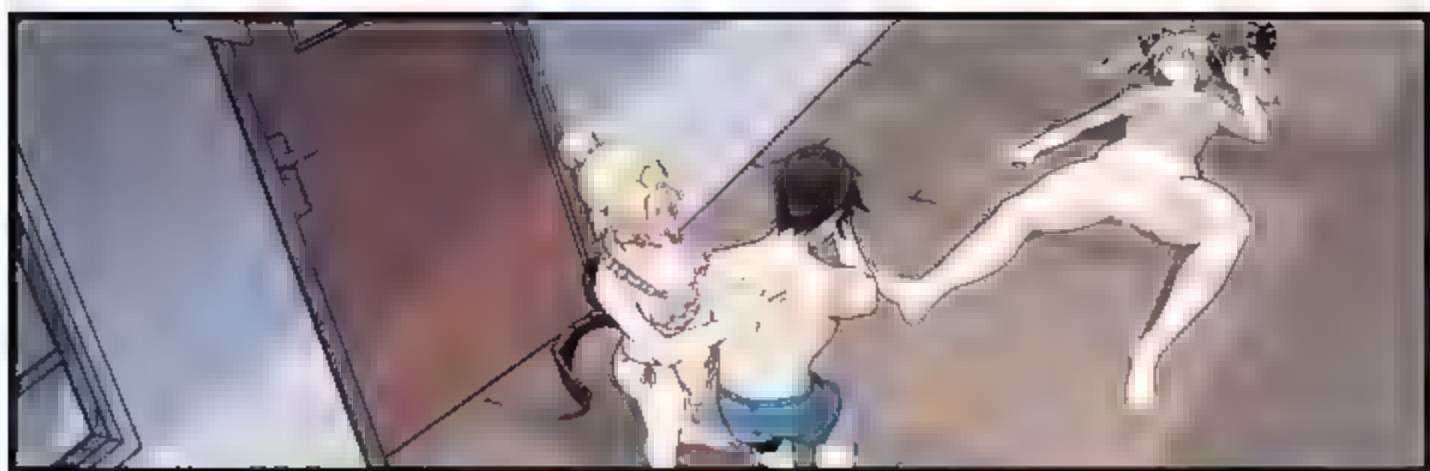
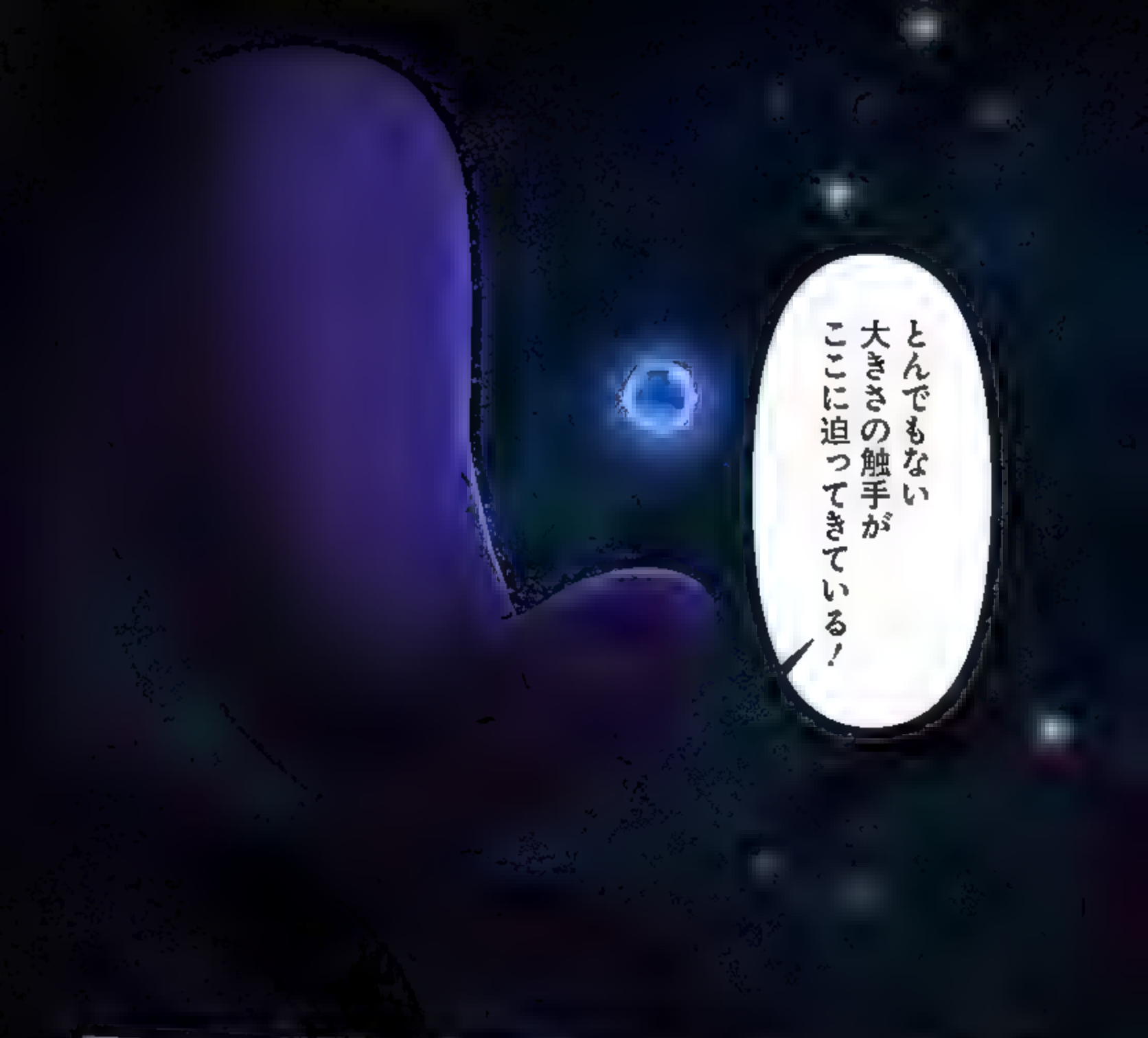
みんな
汚染されてる
ってこと？
ひどすぎるわ…
私の星空神殿だって
人間を集めて
快楽を与えるだけ
だってのに
マリア
お前の力を貸してくれ
危ないこと…
じゃないよね？
安心しろ
お前と繋がって
力を使わせて
もらうだけだ

れっ
はぁはぁ
んんっ私の全部…
ご主人様にあげる！
はぁはぁ

もうすぐだ！
クパァ
見つけたぞ
俺の夢の境界・・・

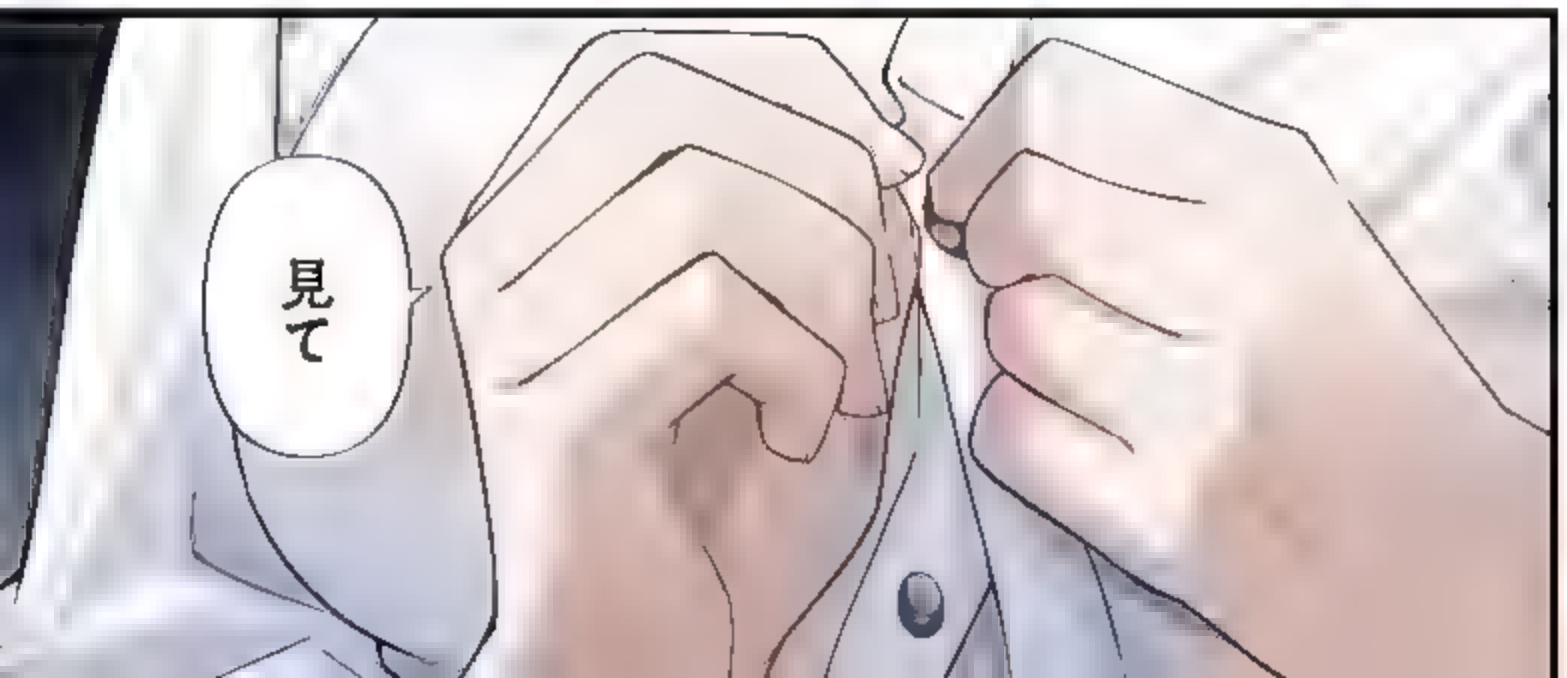
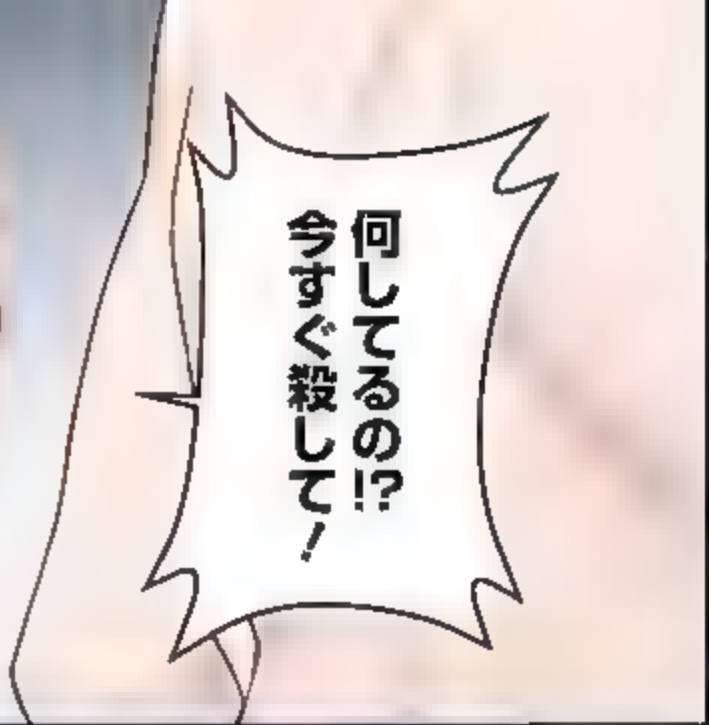
あれは!?
み…見ちゃった いやあああぁ!

なんなの⁉
まさか…
なんてことだ…

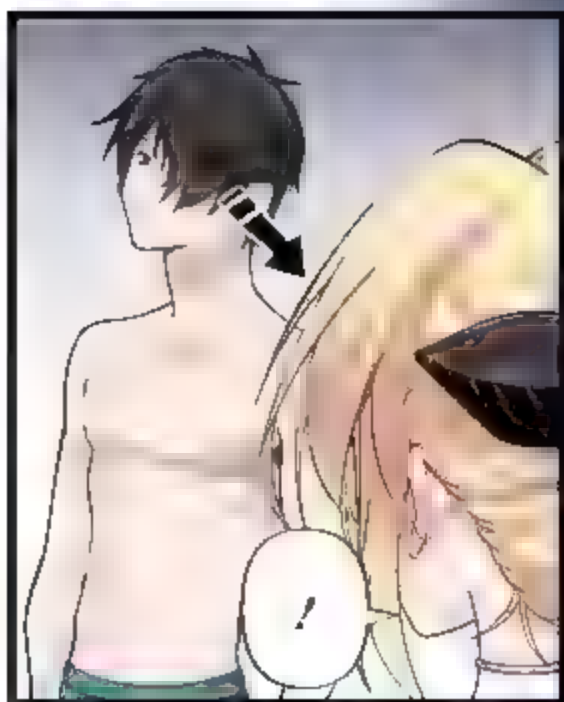
ゴォオオオオ…

とんでもない
大きさの触手が
ここに迫ってきている！

サリーの居場所も
わかった！
助けに行くぞ

マリアは
監獄空間に
避難してくれ

ガチャ
あれ ユウヤくん？ 久しぶりね

パサッ
私の子供かわいいでしょう?
ん? あなたまだ主の苗床になっていないの?
この邪悪な気配…わかったわ!
ユウヤ! 殺して! その中に「深淵の支配者」の眷属を孕んでいるわ!

何してるの⁉
今すぐ殺して！
急ぐのよ！
大丈夫だ
リヴ
これは…
俺と同じ力だ
利用できる
かもしれない
ブオオオォ

はぁ♥
はぁ♥
あへ♥
あへ♥
はぁ♥
はぁ♥
パンッ
パンッ

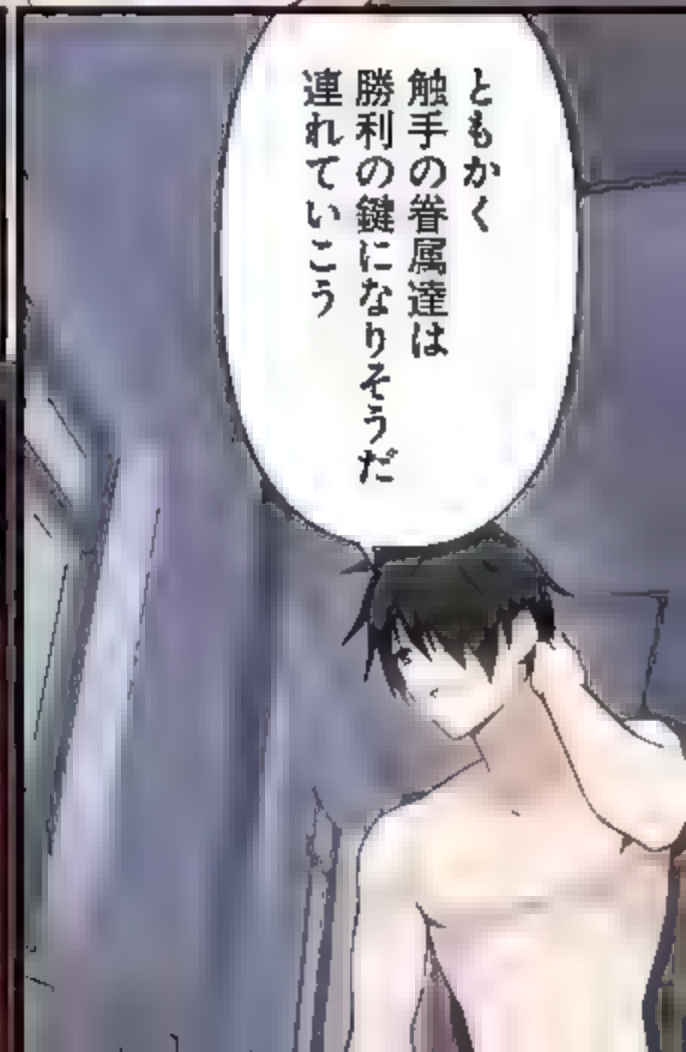
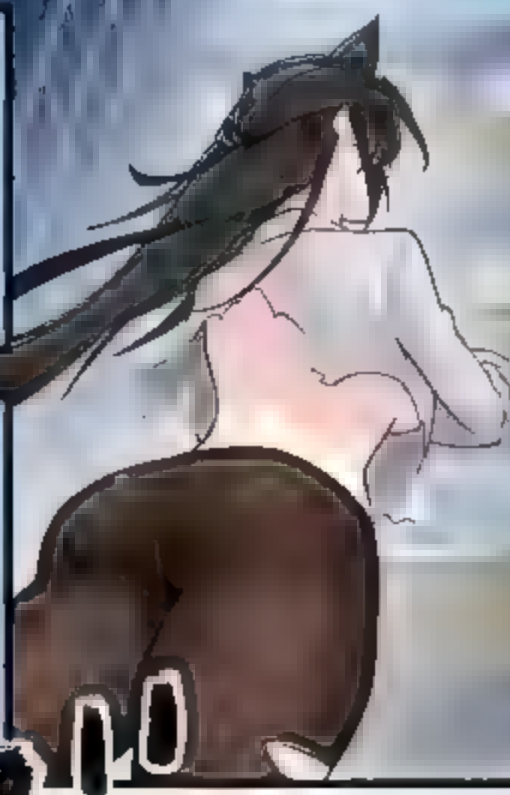
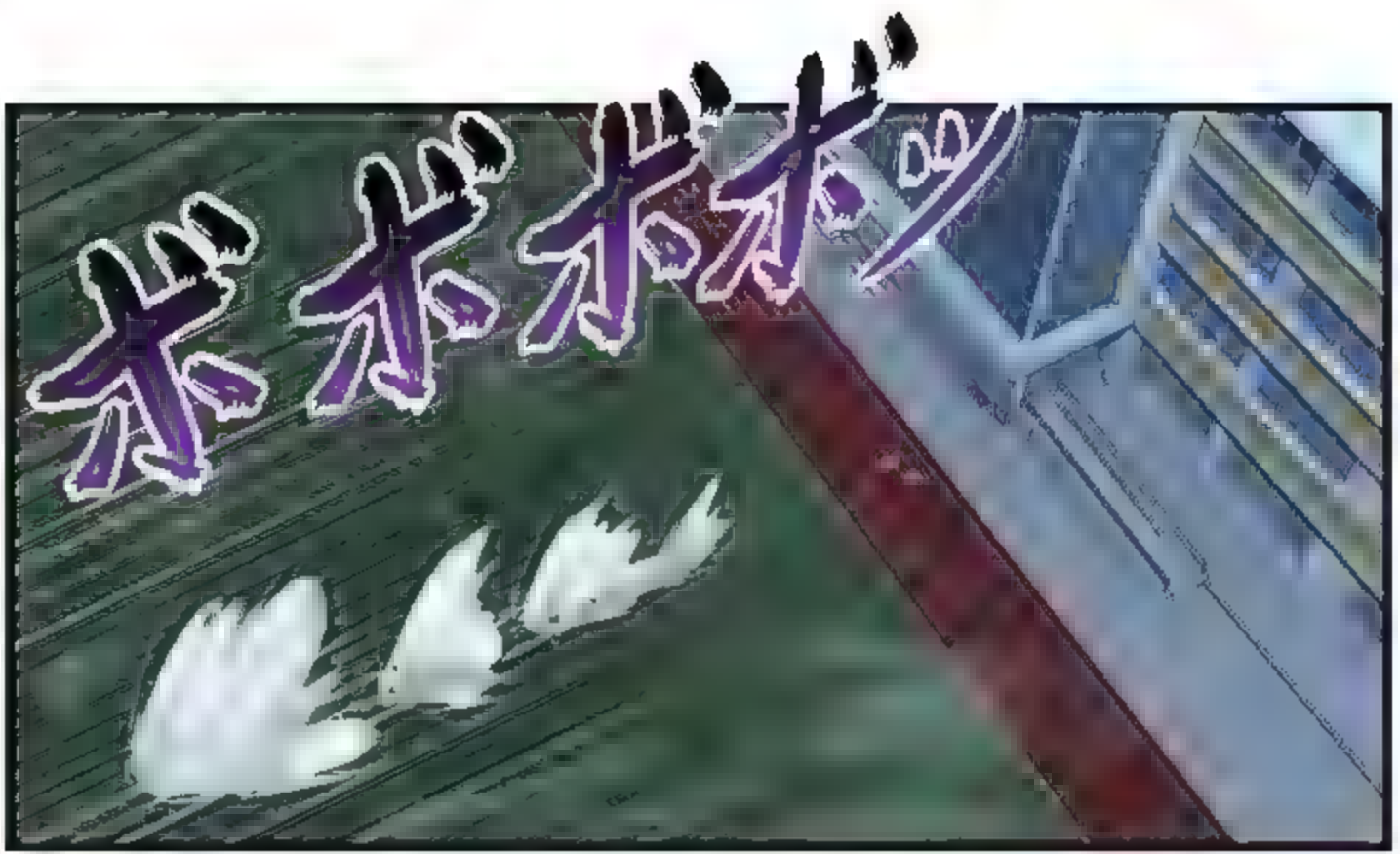
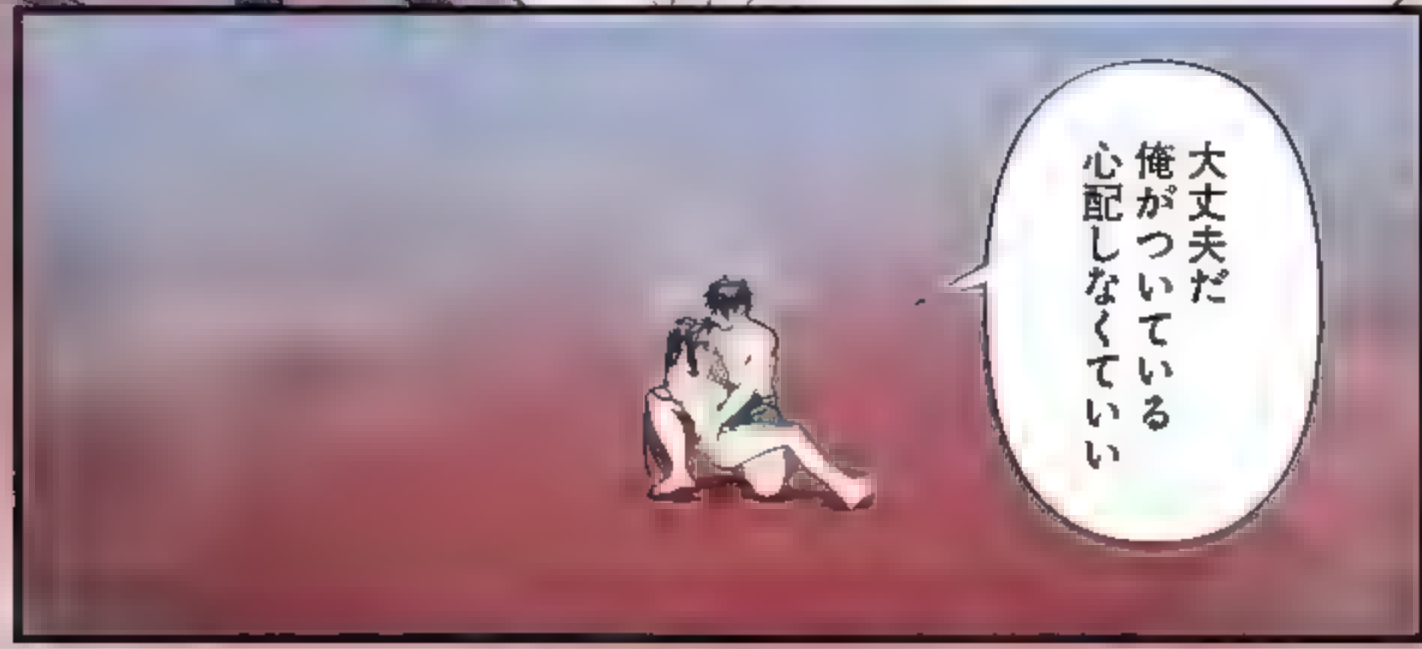
あんあん
イク！イっちゃう！
パンパン
あんあん
あんあん
パンパン
パン
あああん産まれる！
ぐぽっ

なんて数だ…
全部…産まれた…
！
何よその目は!?
汚い妄想をすぐやめなさい！

確かに…俺達はまだそういう関係じゃないよな
想像したのね⁉殺す！このっ！
す少しだけ…
今すぐ引っこ抜いてやるわ！

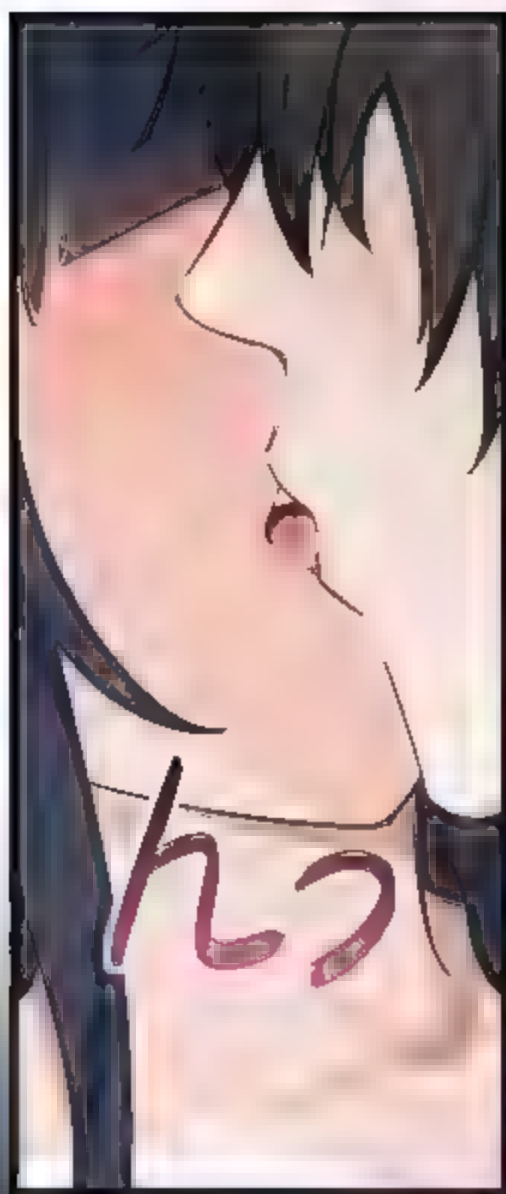
頭の中で
妄想したくらいで…
ともかく
触手の眷属達は
勝利の鍵になりそうだ
連れていこう

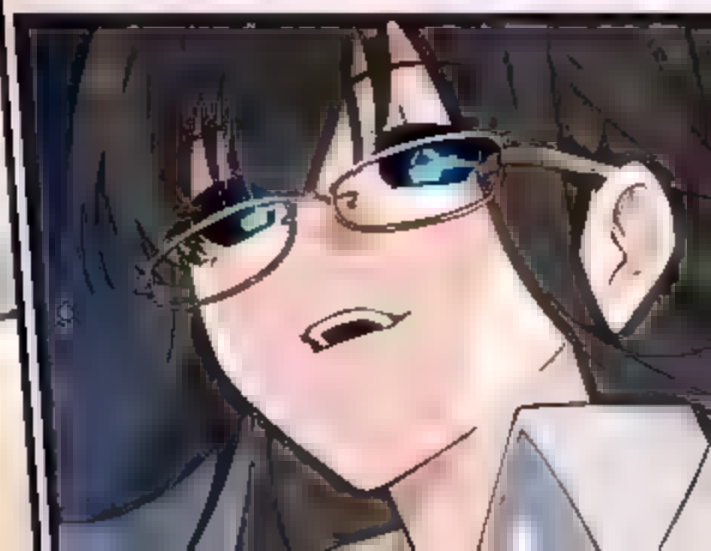
ズアッ!!

ボボボボッ

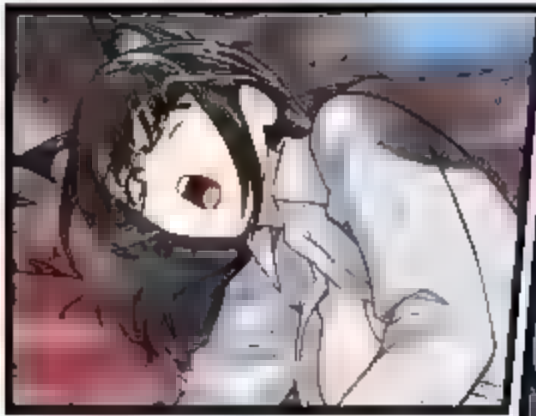
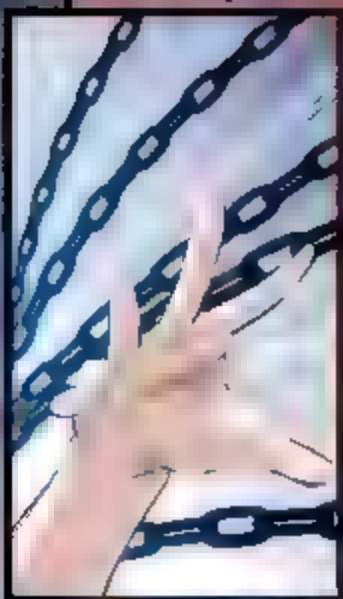
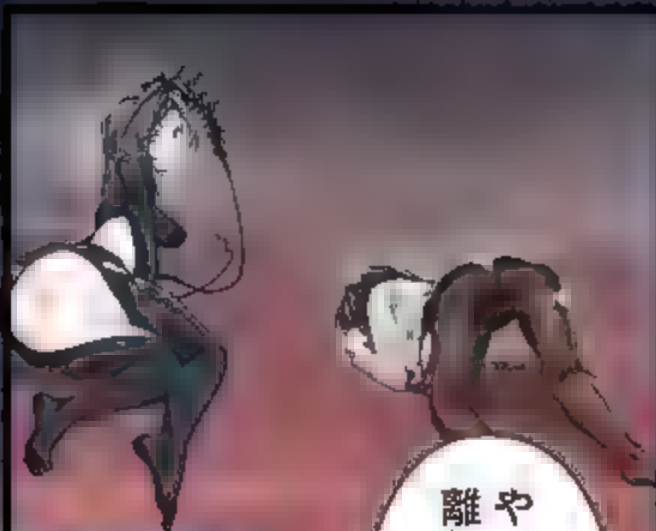
やめなさい！
状況をわかっているの？
生きてここを出るには
私と手を組むしかないのよ⁉

お前と組むぐらいなら
死んだほうがマシだ

サリー！　サリー！
俺だ！　目を覚ませ！
あたしのこと…
覚えているの？

大事な人のこと
忘れるわけ
ないだろう？
あたしはいいから
逃げて！
彼女が来ちゃう！
大丈夫だ
俺がついている
心配しなくていい
ご主人様は
彼女の恐ろしさを
知らないの！

お前をここに残して
一生後悔しろって
言いたいのか？
んっ
はあ…
違うっ

ご…
ご主人様…
ほしいの…
最後にご主人様の
温もりを
感じられるのなら
もう悔いはないわ
あたしが死ねば
もう少し時間を稼げる
ご主人様なら
その隙に逃げられる
あと少し
数分だけでもいい
ぐちゅぐちゅ
つづく ★次回更新をお楽しみに！

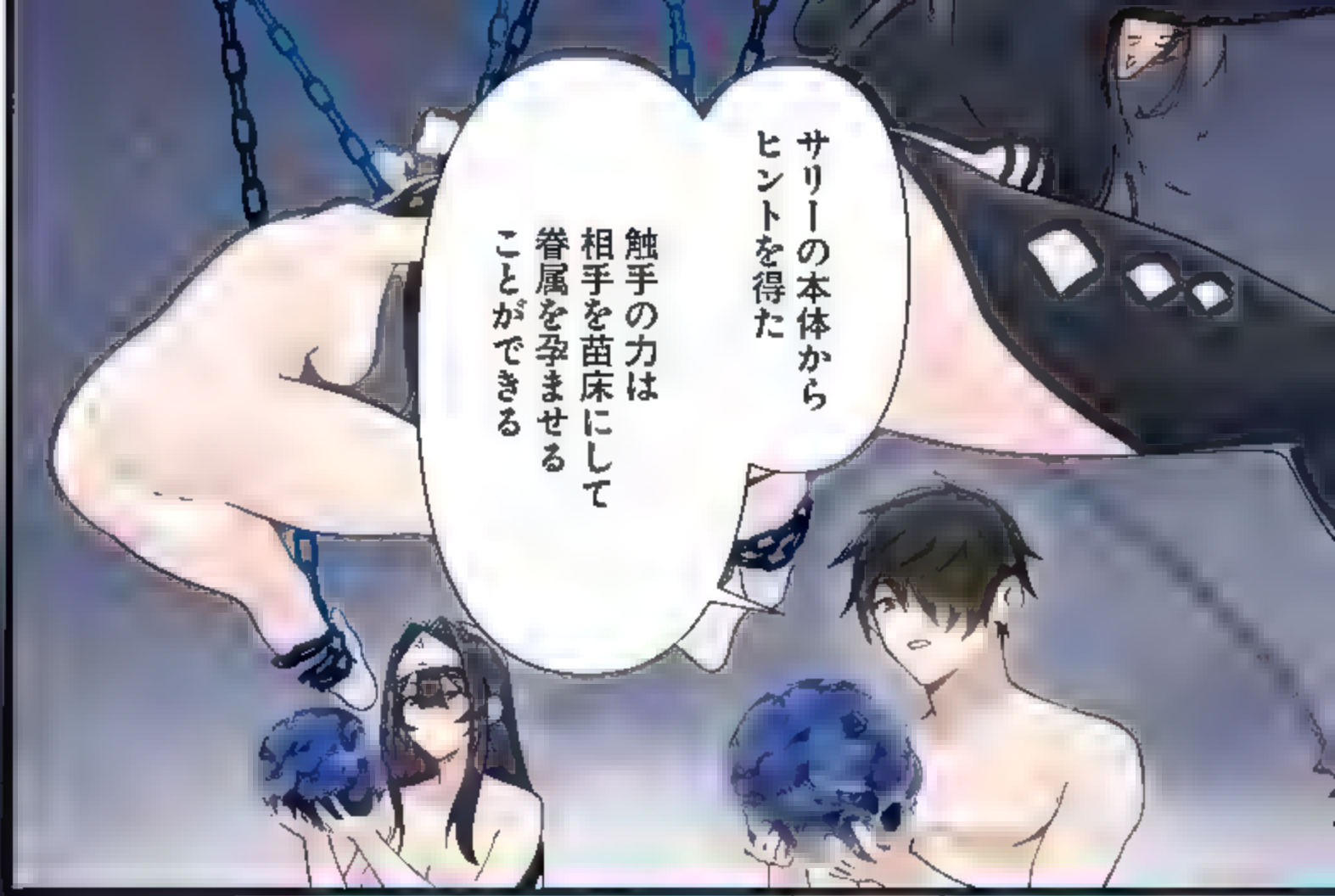
愛してるわ

私
今とっても機嫌が悪いの
どっか行ってくれる!?
お前達は何も
わかっていない！
宇宙の深層で
放浪するアレは
力が無限に満ち溢れて
無数の星を空間ごと飲み込む…
上位神と肩を並べる
究極の邪神――
深淵の支配者！
ユウヤだったかしら？
あなたはこの夢の主で
私は夢魔の力を持っている
お互い協力すれば
この夢を
脱出できるの！

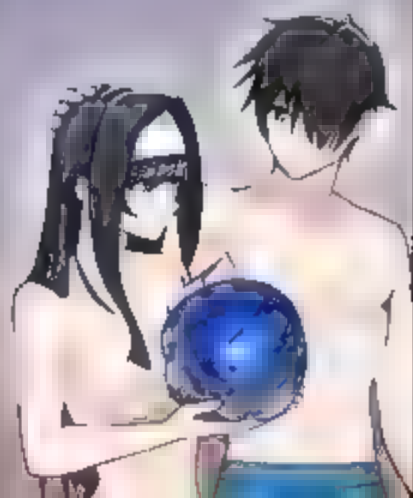
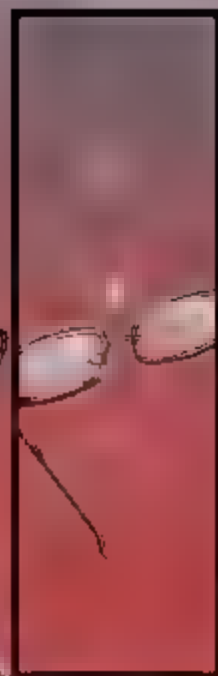
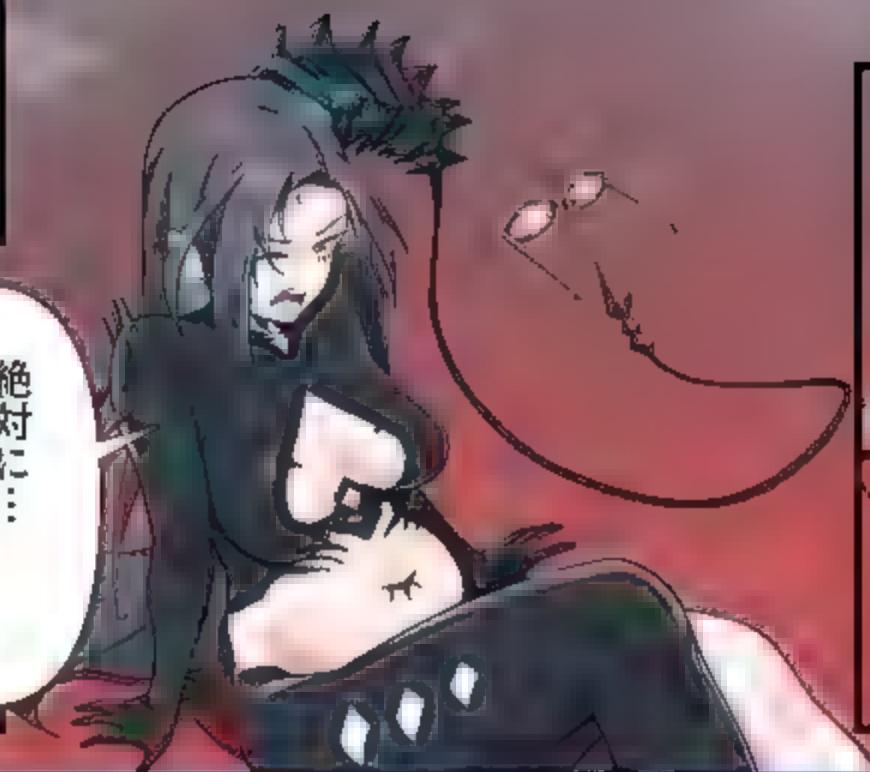
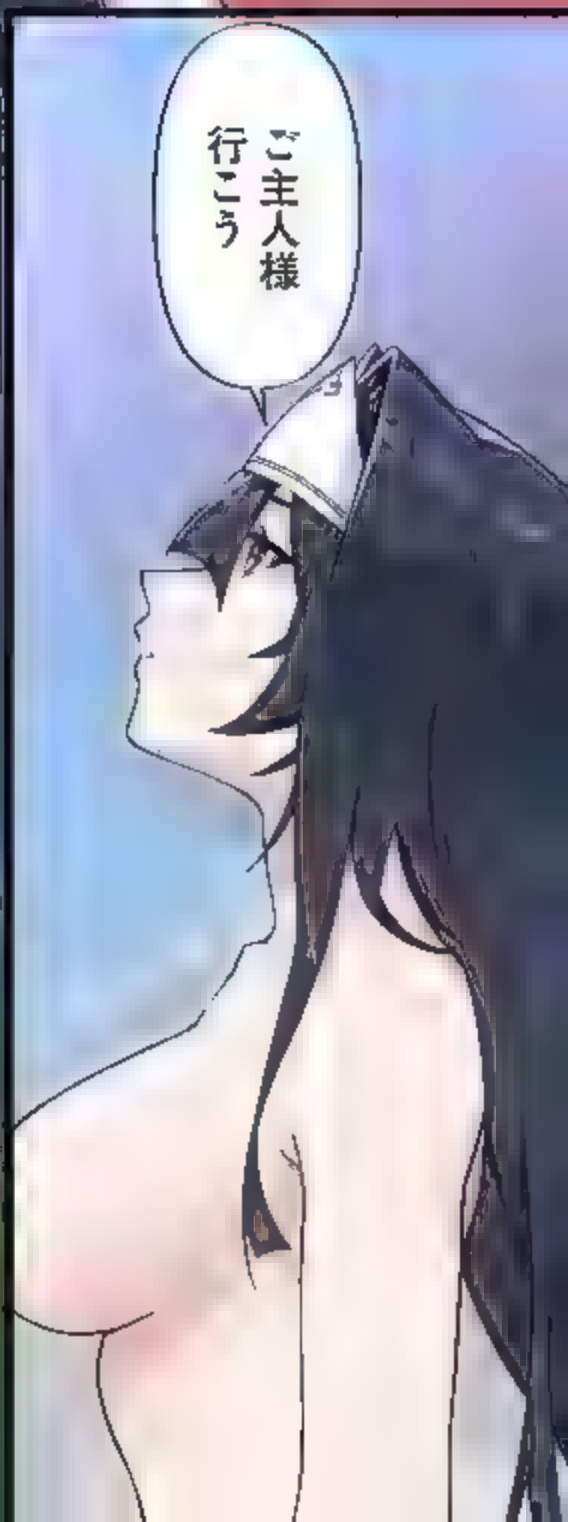
パン
パン
パン
パン
パン
パン
パン
ここから出た後は好きにしていいから！
アレに喰われたら私達は完全に消えてしまうのよ！
お前がサリーにやったようにか？
一体何を!?
眷属を生贄にして支配者を召喚している!?正気なの!?

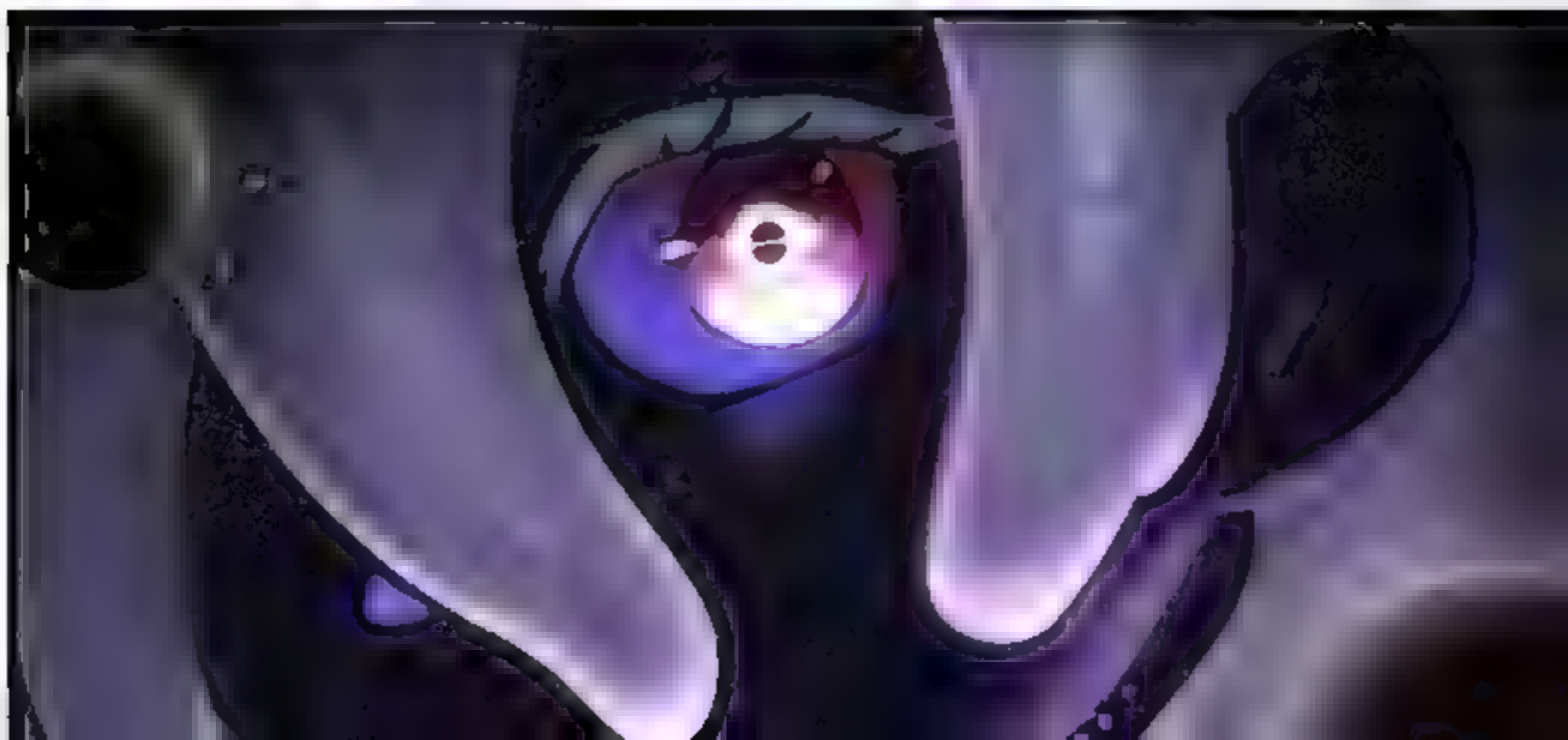
支配者の本体はまだ遠いようだが…

サリーと同じ力を持つ俺は
本体の力を少し
誘導できるんだ
やっと夢魔から
離れる気になったのか？
サリー
協力してくれ

な 何を!?
あ! はあん!

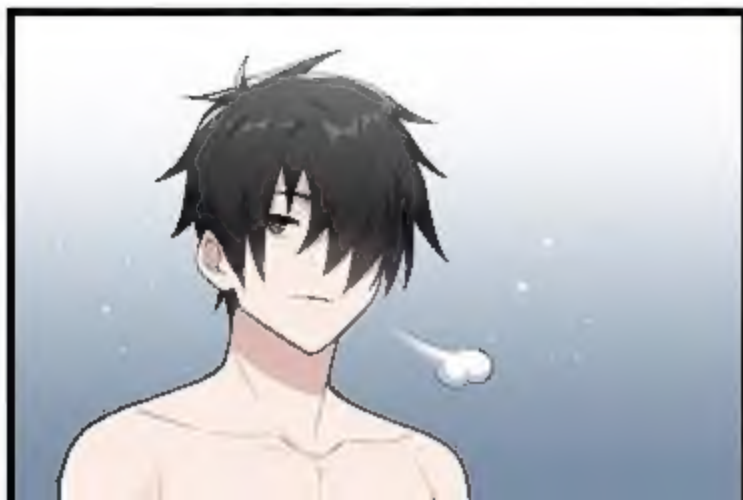
んっ
!
っ！逃げたいのに…
体が勝手に…
あぁっ…！
あ

はぁぁ♥ぁ♥
あぁん♥
はぁぁ♥ぁ♥
あぁん♥
はあああああん

サリーの本体からヒントを得た
触手の力は相手を苗床にして眷属を孕ませることができる
眷属は宿主の大半の力を飲み込んで奪うんだ
なるほど夢魔は俺がここに来た時の執念から生まれた
失われた記憶が眷属を通じて戻ってきたぞ

それは
やつの力の大半を
飲み込んでいるはずだ
吸収してみてくれ
でも…
大丈夫
夢魔は消えた
いつでも夢を終わらせて
支配者を遮断できる
サリーの夢は
本体に戻って支配権を
得ることなんだろう?
この力を吸収した後
お前の本体に
一緒に会いに行こう
ご主人様…
全部知ってたんだね

絶対に…
後悔するわよ…
ご主人様
行こう
二人とも狂ってる！
先に監獄空間を開けて！
私だけでも
避難させてよ！

宇宙の深淵から

アレは
やってきた

なんて大きさだ…
何光年離れているかも
わからないのに…

まずい
見つかった！
今すぐ
夢を解除するぞ！
ご主人様
声に出さないで！
考えるのもダメよ！
察知されたら
追ってくるわ
むぐ！
やっと現実に
戻ってきた
まったく！
ひどい目に遭ったわ
お風呂に入って
スッキリしたいわ

ご主人様
一緒に入らない？
今日は…
お風呂場で…
きゃあ
調子に乗るな
このメス豚ァ！
この暴力女！
ご主人様に一番
愛されているあたしに
嫉妬しているのね!?

アグネスがその鎖と共に戻ってきてお前の力も奪われたただって？
フフフ！
ガシッ
報告ありがとう そして さようなら
この役立たず
つづく ★次回更新をお楽しみに！